KAWAI

ご使用前の準備

演奏ガイド

様々な機能を楽しむ

Concert Artist

CA93/63

取扱説明書

演奏を録音再生する

様々な設定を操作する

付録

このたびは、KAWAIデジタルピアノCA93 / 63をお買い

求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただ

くためにも、この取扱説明書をよくお読みいただき、

大切に保管くださいますようお願い致します。

はじめに

取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（P.8）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CA93 / 63 をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には CA63 の組立方法や音色一覧などの資料を見ることができます。

表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、［　］で囲まれた文字は、ボタン名を表し、［PIANO 1］ ボタン、のように表記します。なおイラストは断りのない限り CA93 のイラストを使用します。

本製品の特徴

電子ピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『木製鍵盤 RM3 Grand / アイボリータッチ、レットオフフィール』(CA93)、『木製鍵盤 RM3 Grand / アイボリータッチ』（CA63)

電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さとグランドピアノと同様のアクション（シーソー構造）を備えた木製鍵盤により、グランドピアノに近い弾き心地で演奏することができます。さらに､優れた吸湿性と象牙の風合い､色を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。

CA93 ではさらに、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールを搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイコンサートグランドピアノ EX の音を様々なタッチで 88 鍵全て録音した、『88 鍵ステレオサンプリング、ウルトラプログレッシブハーモニックイメージング音源』（CA93 / 63）

CA93 / 63 は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノ EX の音を、88 個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸のピアノ音を搭載しています。さらに鍵盤を弾く強さにより大きく変化するピアノ音を様々な強さで録音することにより､従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。

また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きをサンプリングした「ダンパーレゾナンス」や、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」など、グランドピアノの音の響きをディテールまで再現します。[PIANO1] ボタンにはクラッシック曲に最適なピアノ音、[PIANO2] ボタンには POPS などに最適なピアノ音が入っていますので、弾きたい曲の曲想に適したピアノ音を簡単に選ぶことが出来ます。

MP3 形式、WAV 形式での録音 / 再生が可能 『USB オーディオレコーダー』

録音した曲をパソコンや携帯プレーヤー等の機器で再生したり、お好みのアーティストの曲（MP3 または WAV 形式）を CA93/63 で再生するなど、従来の電子ピアノの枠を超えた楽しみ方ができます。また、CA93/63 で演奏した曲を MP3 形式で録音し、E メールに添付して友人に送付し聴いてもらう、というような楽しみ方もできます。

付属品（お確かめ下さい）

- ☐ 保証書
- ☑ 取扱説明書 (本書)
- ☐ クラシカルピアノコレクション (楽譜集)
- ☐ ご愛用者カード
- ☐ アフターサービスと音楽教室のご案内
- ☐ 楽譜集ご案内
- ☐「コンサートマジック曲集」注文払込用紙
- ☐ 木製高低自在椅子
- ☐ 電源コード
- ☐ ヘッドホン
- ☐ ヘッドホンフック
- ☐ミニステレオケーブル
- ☐ スタンド組立図（CA63 のみ）

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は下記のようになっています。

本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告

100V 以外禁止

電源は必ず AC100V を使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

からまないようにする

電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける , かける , こぼす）等しない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

濡れ手禁止

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

長時間使用禁止

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

⚠ 注意

プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

長時間使用しない時は　必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

使用しない

イスは次のように使用しない

- **イスを不安定な場所に置かない**
- **イスで遊んだり、踏み台にしない**
- **イスには 2 人以上で座らない**
- **イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）**
- **イス組立時、ネジをしっかり締める**

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

ベンジー / シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

3 はじめに

4 安全上のご注意

6 目次

ご使用前の準備

8 各部の機能と名称

10 電源を入れる / アジャスターの調整

11 音量を調整する / ヘッドホンを使う

演奏簡単ガイド

12 いろいろな音色を楽しむ

13 ペダルを使う

14 リバーブについて

15 音にエフェクトを加える

16 エフェクト効果のかかり具合を変更する

17 デュアル演奏

18 スプリット演奏

19 4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

20 メトロノームを使う

21 レジストレーションについて

様々な機能を楽しむ

22 デモ曲を聴く

23 ピアノミュージックを聴く

24 レッスン機能を楽しむ

1. 練習したい曲を選ぶ

25 2. 練習曲を聴く

26 3. 練習曲の途中から聴く / 片手で練習する

27 4. フレーズを指定して練習する

28 5. 練習曲に合わせて録音する

29 6. 指のトレーニング機能を使う

30 コンサートマジックを楽しむ

1. コンサートマジックとは？

31 2. コンサートマジックを演奏しよう

32 3. コンサートマジック曲を聴いてみよう

演奏を録音する

33 演奏を録音する

1 CA93 / 63 の録音機能について

34 2 CA93 / 63 本体に録音する

35 3 USB メモリに直接録音する

37 録音した演奏を聴いてみる

1 CA93 / 63 本体に録音された曲を聴く

38 2 USB メモリ内の曲を聴く

40 本体に録音した演奏を消去する

様々な設定を操作する

41 設定メニューについて

42 ベーシックセッティングについて

43 ベーシックセッティング

1. キートランスポーズ

2. ソングトランスポーズ

44 3. 全体の音質を変える（トーンコントロール）

45 4. スピーカーボリューム

5. ヘッドホンボリューム

46 6. ウォール EQ の設定（CA93 のみ）

47 7. チューニング

8. ダンパーホールドの ON / OFF

48 9. 4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

50 10. ユーザーメモリーの使い方

51 11. ファクトリーリセットの使い方

12. 表示言語の設定

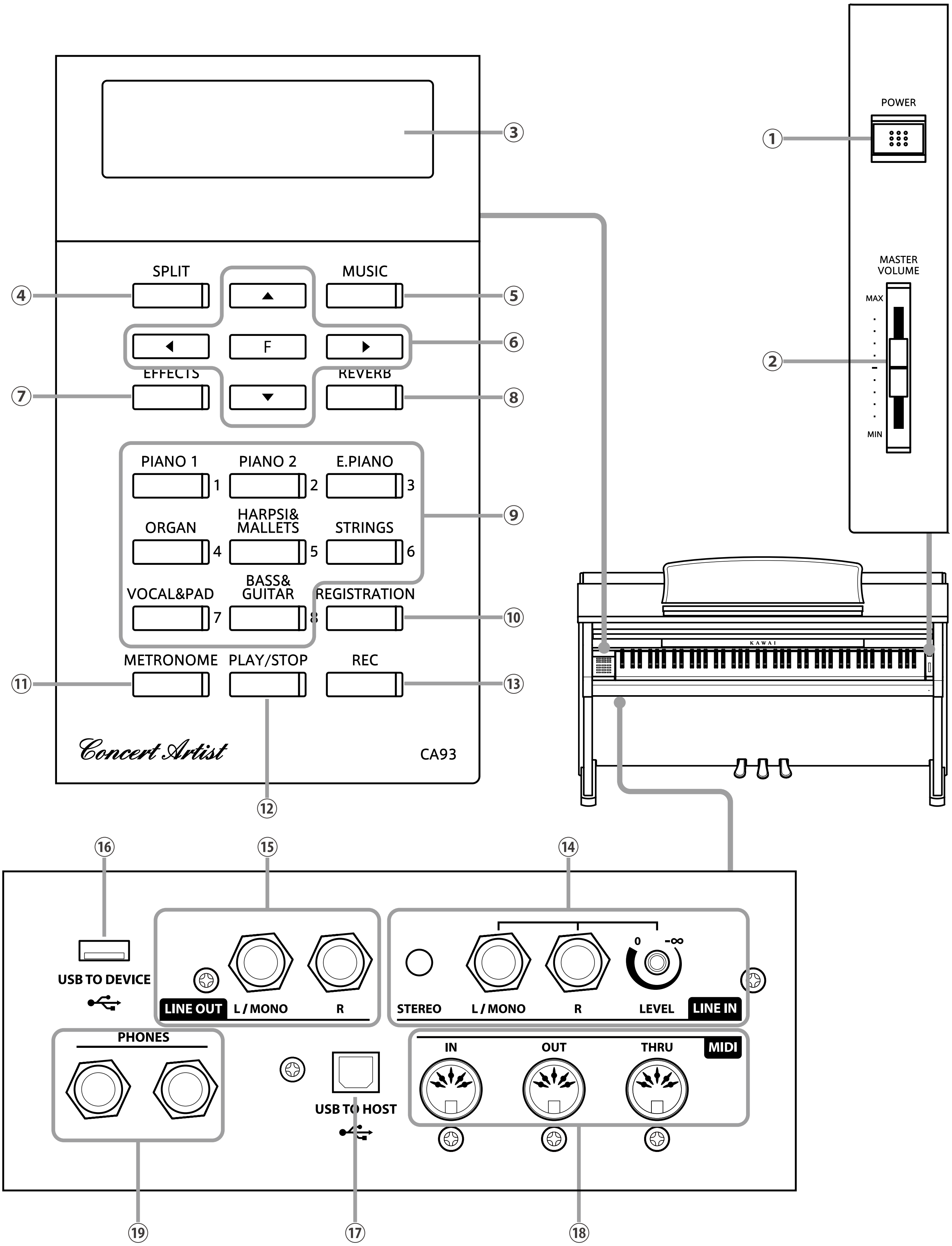
52 バーチャルテクニシャンについて
53 バーチャルテクニシャン
1. ボイシング
54 2. ダンパーレゾナンス
55 3. ストリングレゾナンス
56 4. キーオフエフェクト
57 5-1. タッチカーブ
58 5-2. ユーザータッチカーブの作成
59 6-1. 音律の設定
60 6-2. ユーザー音律の設定
7. 音律の主音の設定
61 8. ストレッチチューニング
62 キーセッティングについて
63 キーセッティング
1. ロアーオクターブシフト
2. ロアーペダルの ON / OFF
64 3. レイヤーオクターブシフト
65 4. レイヤーダイナミクス
66 MIDI について
68 MIDI ファンクション
1. MIDI 送受信チャンネル
69 2. プログラムナンバー送信
3. ローカルコントロール
70 4. プログラムナンバー送信の ON / OFF
71 5. マルチティンバーモード
72 6. チャンネルミュート
73 USB メモリの接続
74 USB メニューについて
75 USB メニュー
1. USB ロード
76 2. USB セーブ
77 3. USB リネーム
78 4. USB デリート
79 5. USB フォーマット

付録

80 困ったときは？
81 音色一覧
82 デモ曲一覧
83 ピアノミュージック / レッスン曲集一覧
84 コンサートマジック曲目一覧
85 リズム一覧
86 送受信プログラムナンバー一覧
88 他の機器との接続
91 CA63 の組み立て方
94 CA93 / 63 仕様
95 MIDI インプリメンテーションチャート

裏表紙 お問い合わせ先

各部の機能と名称


POWER
MASTER VOLUME
MAX
MIN
SPLIT
MUSIC
F
EFFECTS
REVERB
PIANO 1
PIANO 2
E.PIANO
ORGAN
HARPSI& MALLETS
STRINGS
VOCAL&PAD
BASS& GUITAR
REGISTRATION
METRONOME
PLAY/STOP
REC
Concert Artist
CA93
KAWAI
USB TO DEVICE
LINE OUT
L / MONO
R
STEREO
L / MONO
R
0
-∞
LEVEL
LINE IN
PHONES
USB TO HOST
IN
OUT
THRU
MIDI
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲

①［POWER］スイッチ
電源をオン / オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

②［MASTER VOLUME］スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③ ディスプレイ
通常は選ばれている音色名を表示します。その他、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示します。

※ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用下さい。

④［SPLIT］ボタン
スプリット演奏、4 ハンズモード（連弾演奏）を使う際に使用します。

⑤［MUSIC］ボタン
デモ曲、ピアノミュージック、レッスン機能、コンサートマジックを使う際に使用します。

⑥ 十字キー /［FUNCTION］ボタン
表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更、決定など様々な場面で使用します。

［UP］［DOWN］［RIGHT］［LEFT］［FUNCTION］ボタンがあります。

⑦［EFFECTS］ボタン
各種エフェクトの選択又はかかり具合やオン / オフを設定します。

⑧［REVERB］ボタン
リバーブ効果選択、またはオン / オフを設定します。音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。

⑨ 音色ボタン
音色を選択するボタンです。1 つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。

押されたボタンに緑のランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

⑩［REGISTRATION］ボタン
音色やエフェクト等のパネル設定をあらかじめ記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することができます。

⑪［METRONOME］ボタン
メトロノームのオン/オフやテンポ/拍子/音量を設定します。

⑫［PLAY/STOP］ボタン
本製品に内蔵している曲やお客様の演奏を録音したものなどを再生 / 停止する際に使用します。

⑬［REC］ボタン
演奏を録音する際などに使用します。

⑭［LINE IN］端子
他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、CA93 / 63 の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

⑮［LINE OUT］端子
CA93 / 63 の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

⑯［USB TO DEVICE］端子
USB メモリや USB フロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、CA93 / 63 で録音した曲を USB メモリに保存することもできます。

⑰［USB TO HOST］端子
市販の USB ケーブルでコンピュータと接続すると、MIDI デバイスとして認識され通常の MIDI インターフェイスと同様に MIDI メッセージを送受信することができます。

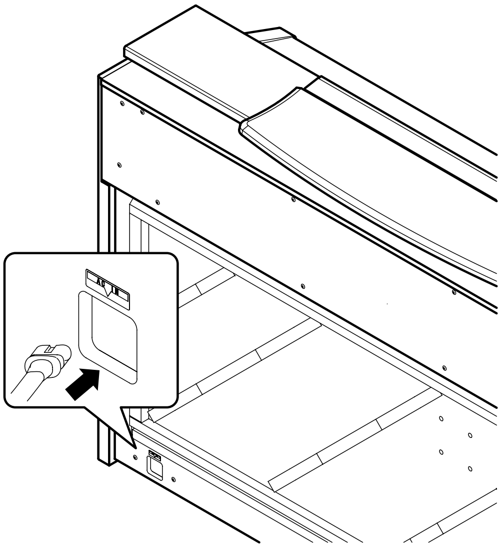
⑱［MIDI IN / OUT / THRU］端子
MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑲［PHONES］端子
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは 2 つまで接続できます。

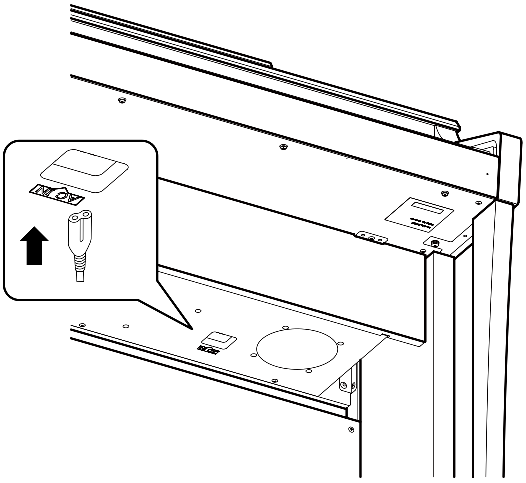
電源を入れる / アジャスターの調整

1. 電源コードを本体に接続する

〈CA93 の場合〉
　付属の電源コードを、本体裏下部の AC インレットに差し込みます。

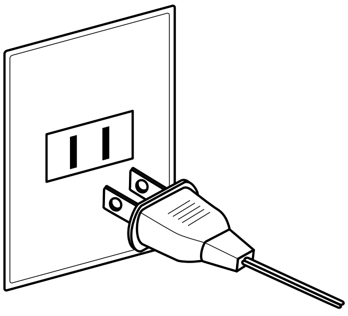


〈CA63 の場合〉
　付属の電源コードを、本体底面に差し込みます。



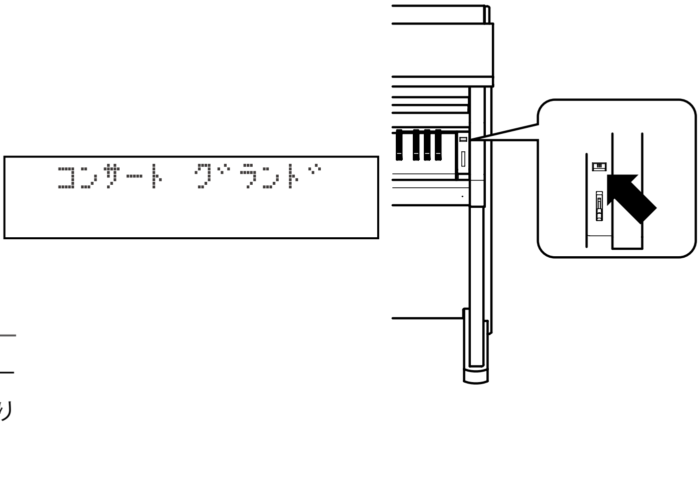
2. 電源コードをコンセントに接続する

　電源コードを AC100V のコンセントに差し込みます。



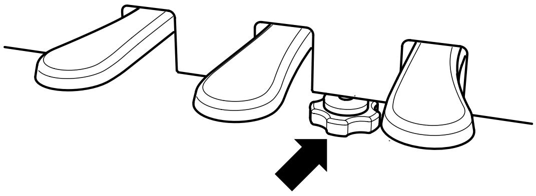
3. 電源を入れる

　［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。
　［POWER］スイッチを押すと音色ボタンの［PIANO 1］が点灯し、LCD ディスプレイに「コンサートグランド」と表示されます。また電源ランプも点灯します。
　電源を切るときは、もう一度 [POWER] スイッチを押します。画面の表示が消え、ボタン・電源ランプも消灯します。



▌アジャスターを調整する

　ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。

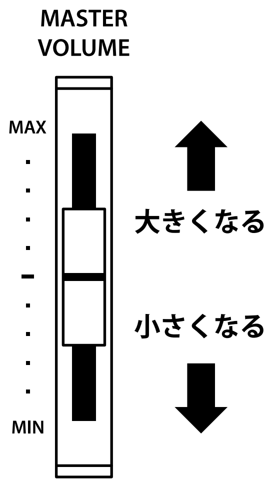


音量を調整する / ヘッドホンを使う

音量を調整する

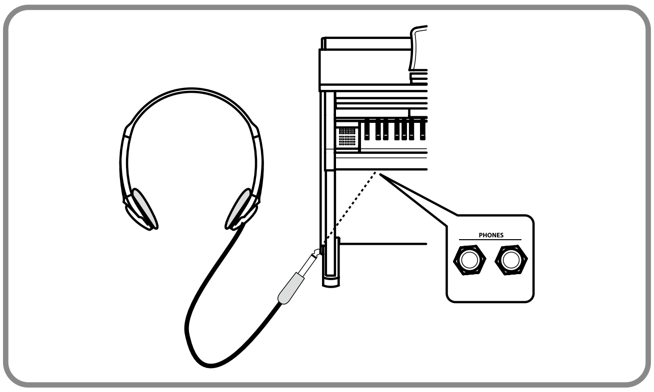
本体右にある [MASTER VOLUME] スライダーで音量を調整します。上側に動かすと音量が大きくなり、下側に動かすと小さくなります。

実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。



ヘッドホンを使う

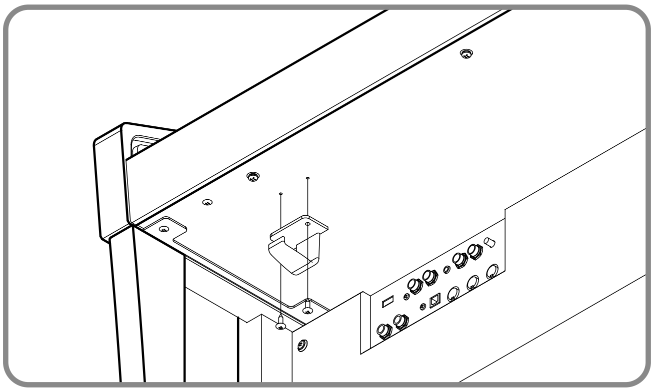
ヘッドホンをジャックパネルの [PHONES] 端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。



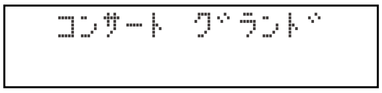
いろいろな音色を楽しむ

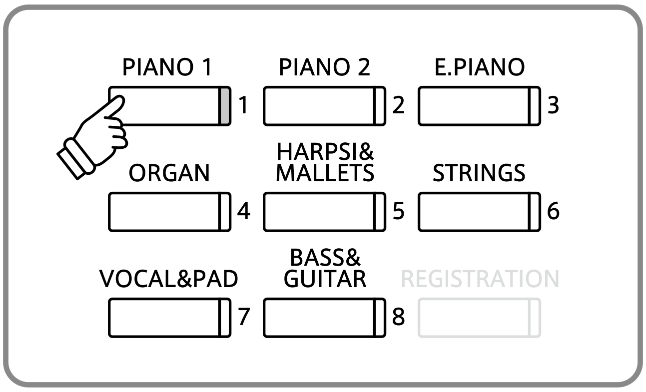
CA93 / 63 にはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。電源 ON 時は、「PIANO 1 / コンサートグランド」の音色が選ばれています。

1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

ディスプレイには､現在選ばれている音色名が表示されます。



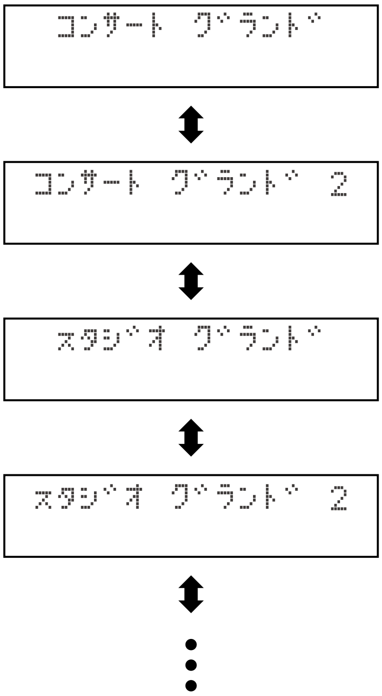


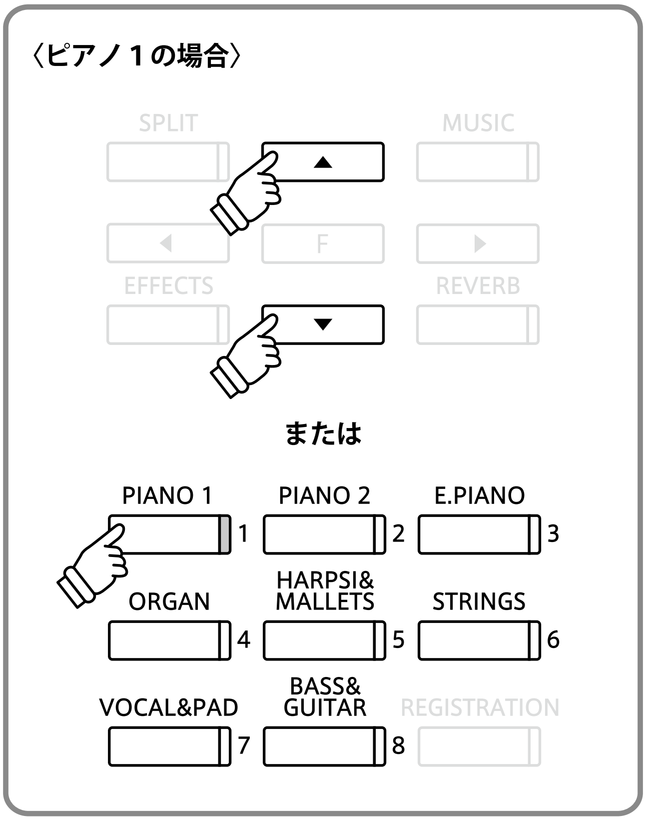
2. 音色を変更する

他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。

［UP /DOWN］ボタンを押すと順番に音色を変更することができます。

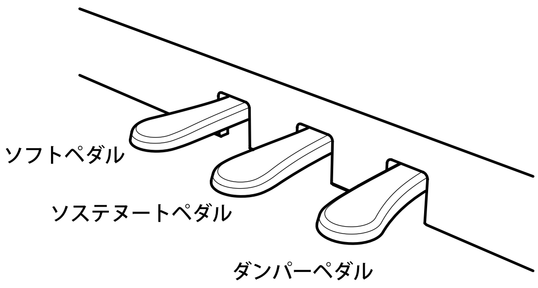




演奏ガイド

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

ソフトペダル（左のペダル）

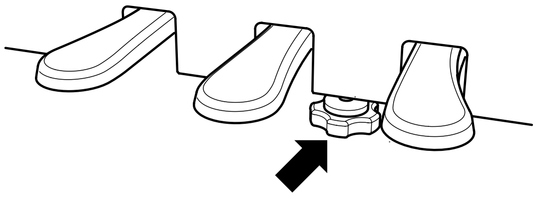
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

[EFFECTS] ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow/Fast）を切り替えます。

* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

リバーブについて

リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。CA93 / 63 には 5 種類のリバーブを用意しています。

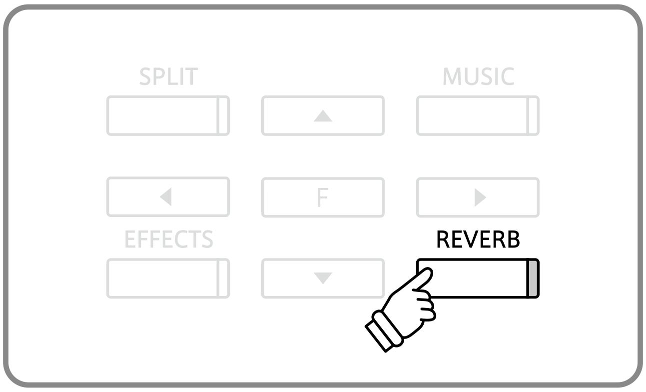
リバーブの種類

リバーブ名	効果
ルーム 1	室内で演奏しているときにかかる残響効果が得られます。
ルーム 2	ルーム 1 より長い残響効果が得られます。
ステージ	ステージで演奏しているときにかかる残響効果が得られます。
ホール 1	ホールで演奏しているときにかかる残響効果が得れます。
ホール 2	ホール 1 より長い残響効果が得られます。

リバーブの ON / OFF

［REVERB］ボタンを押して点灯させるとリバーブ効果がかかり、画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。再度［REVERB］ボタンを押すと消灯しリバーブ効果は解除されます。

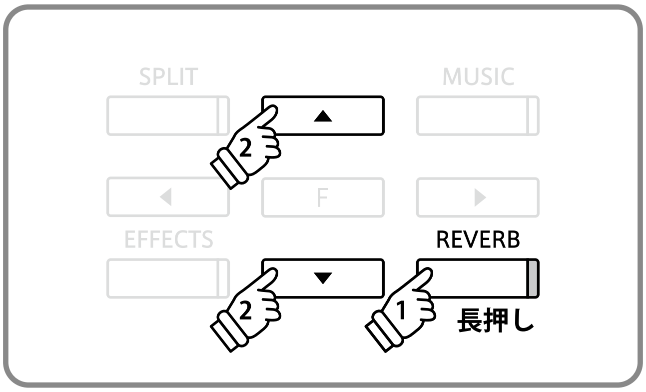
また初期設定で音色ごとにリバーブの種類が設定されています。

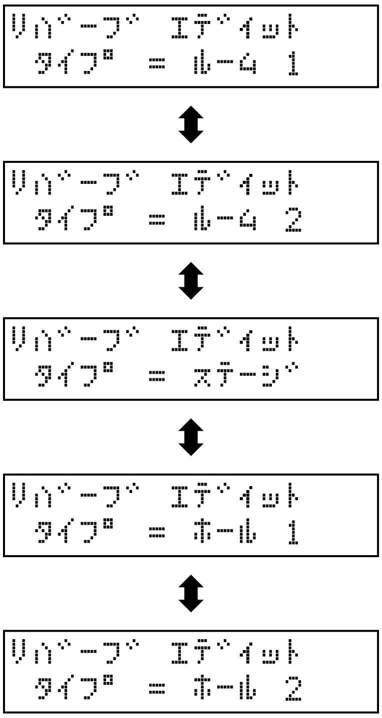


リバーブの変更

［REVERB］ボタンを長押しするとリバーブ変更画面が表示されます。その間に［UP / DOWN］ボタンを押すとリバーブの種類が切り替わります。

しばらくすると通常音色画面に戻ります。





音にエフェクトを加える

　リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。このような効果を「エフェクト」といいます。CA93 / 63 には 5 種類のエフェクトを用意しています。

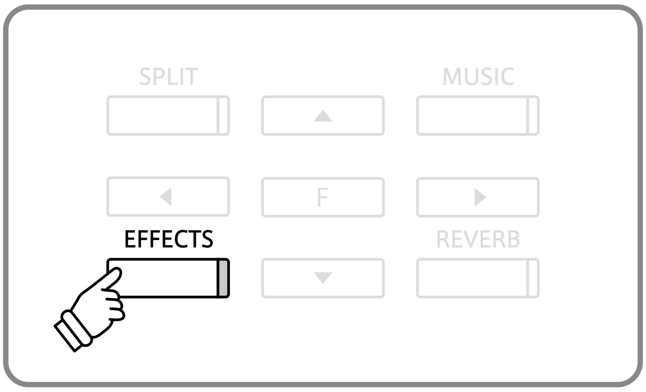
エフェクトの種類

エフェクト名	効果
コーラス	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
ディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。CA93 / 63 では 3 種類のディレイ効果を用意しています。
トレモロ	音に " ゆらぎ " を与える効果です。
ロータリー 1	ロータリー（回転式）スピーカーを使って得られる効果です。ソフトペダル（左のペダル）を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー 2	上記のロータリー効果に歪み効果を加えます。

エフェクトの ON / OFF

［EFFECTS］ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。再度［EFFECTS］ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。

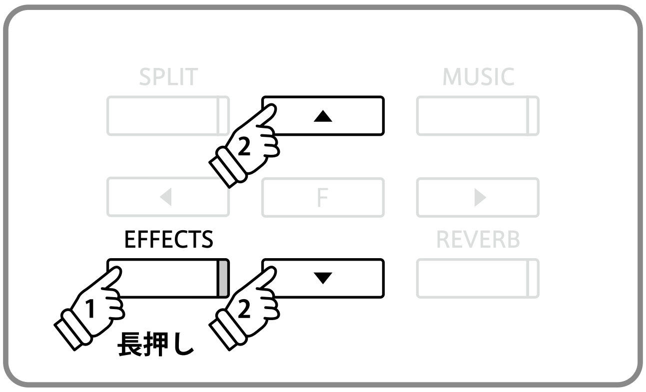
　また初期設定で音色ごとにエフェクトの種類が設定されています。

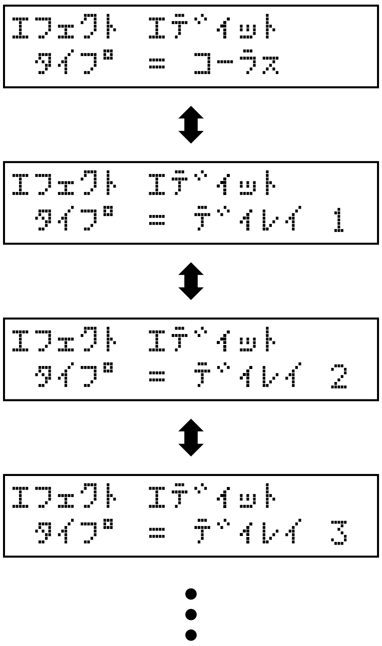


エフェクトの変更

［EFFECTS］ボタンを長押しするとエフェクト変更画面が表示されます。その間に［UP / DOWN］ボタンを押すとエフェクトの種類が切り替わります。

　しばらくすると通常音色画面に戻ります。





エフェクト効果のかかり具合を変更する

各エフェクト効果はかかり具合を変更することができます。変更できる項目と値を変更したときの変化は以下のとおりです。

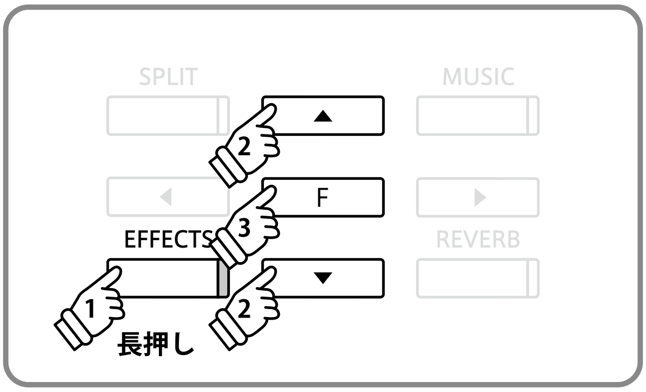
各エフェクトの変更項目と変化

エフェクト名	変更項目	効果（数字を大きくした場合）
コーラス	デプス（深さ）	かかり具合が深くなります。
	スピード（速さ）	速くなります。
ディレイ 1 / 2 / 3	デプス（強さ）	かかり具合が強くなります。
	タイム（間隔）	長くなります。
トレモロ	デプス（大きさ）	かかり具合が大きくなります。
	レイト（速さ）	速くなります。
ロータリー 1 / 2	アクセルスピード（遅い方〜速い方に変化する際のスピード）	速くなります。
	ロータリースピード（速い方のスピード）	速くなります。

1. エフェクト設定に入る

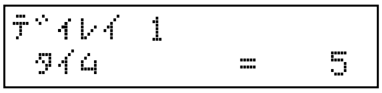
［EFFECTS］ボタンを長押ししてエフェクト変更画面を表示させます。設定変更したいエフェクトを選択し、[FUNCTION] ボタンを押します。

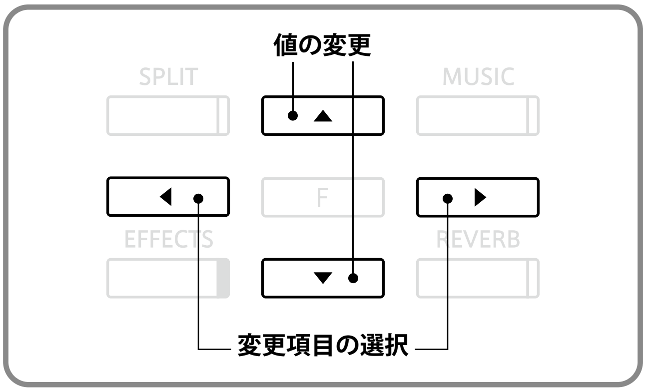
*[RIGHT][LEFT] ボタンでも入ることができます。



2. かかり具合を変える

各エフェクトに応じた変更項目が表示されます。［UP / DOWN］ボタンで変更したい度合いを、［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと変更項目が変わります。





3. エフェクト設定を終了する

[FUNCTION] ボタンを押すとエフェクト変更画面に戻ります。また音色ボタンを押すと音色表示画面に戻ることができます。

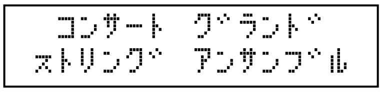
デュアル演奏

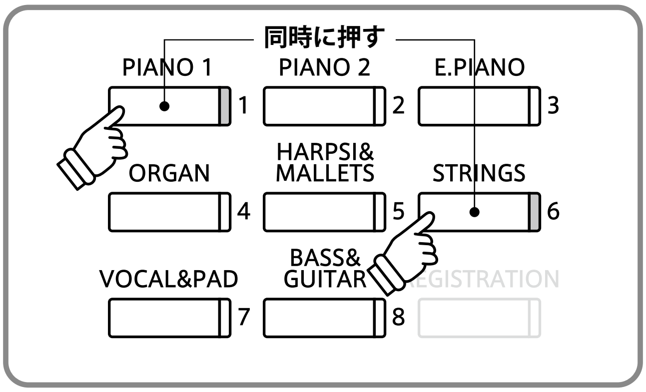
デュアル演奏とは 2 つの音色を重ね合わせる機能です。2 つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

デュアル演奏に入る

2 つの音色ボタンを同時に押します。重ね合わせる 2 つの音色ボタンを同時に押すと 2 つの音色ボタンが点灯しディスプレイに 2 つの音色名が表示されます。（先に押した音色がディスプレイの 1 行目に表示されます。）

例えば、［PIANO1］と［STRINGS］の音を重ね合わせる場合、図の様に［PIANO1］ボタンと［STRINGS］ボタンを同時に押します。



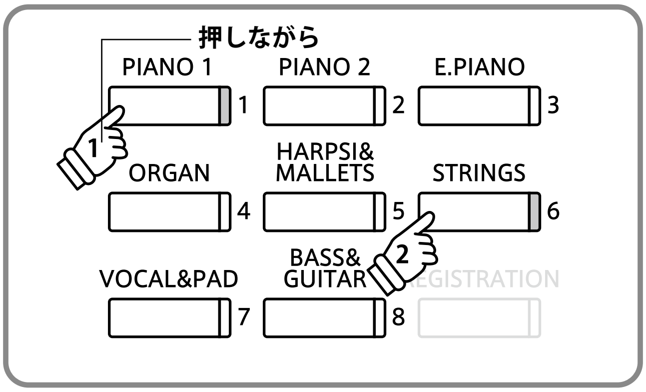


デュアル演奏での音色変更

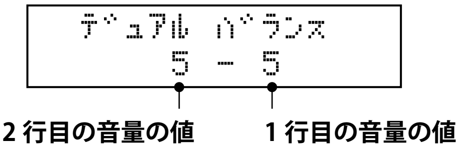
デュアル演奏で音色を変更する場合は表示されている音色ボタンを押しながら変更したい音色ボタンを押してください。

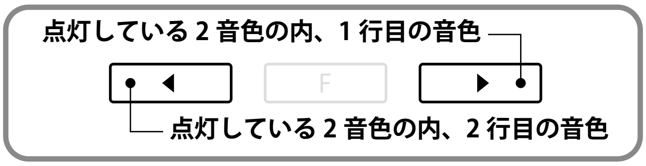
例えば上記のデュアル演奏の状態から、「ストリングアンサンブル」を「スローストリングス」に変更する場合は、［PIANO1］ボタンを押しながら［STRINGS］ボタンを再度押します。

同じ音色ボタンの中の 2 音色を重ね合せて発音させることもできます。例えば、［PIANO1］ボタンに割り当てられている「コンサートグランド」と「メローグランド」の音色を重ね合せる場合は、［PIANO1］ボタンで「コンサートグランド」を選択した後、そのまま［PIANO1］ボタンを押しながら［UP / DOWN］ボタンで「メローグランド」を選びます。



［RIGHT］、［LEFT］ボタンで 2 つの音色の音量バランスを設定することができます。





デュアル演奏を終了する

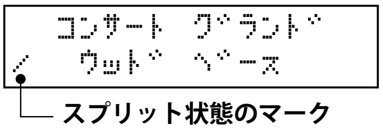
デュアル演奏の解除は、音色ボタン のいずれかを 1 つ押します。押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

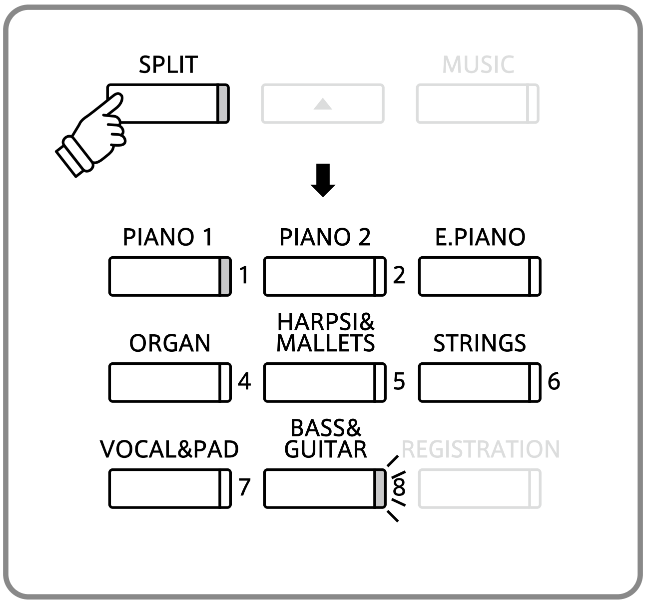
スプリット演奏

スプリット演奏とは鍵盤を左右 2 つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。初期設定ではスプリットポイントは C3（ド）に設定されています。

スプリット演奏に入る

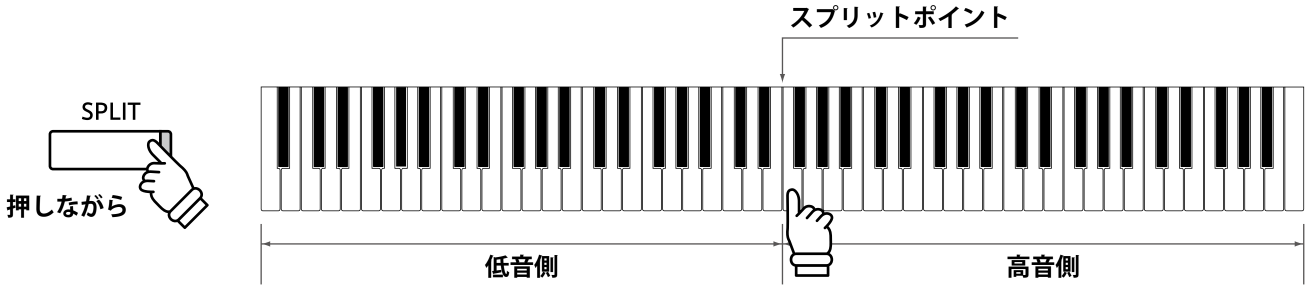
［SPLIT］ボタン を押します。［SPLIT］ボタンが点灯します。音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているベース音色です。





スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[SPLIT] ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。



高音側・低音側の音色変更

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

低音側の音色は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

高音側・低音側の音量バランスの設定

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで高音側と低音側の音量バランスを設定することができます。

スプリット演奏を終了する

再度［SPLIT］ボタンを押します。［SPLIT］ボタンが消灯します。

4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

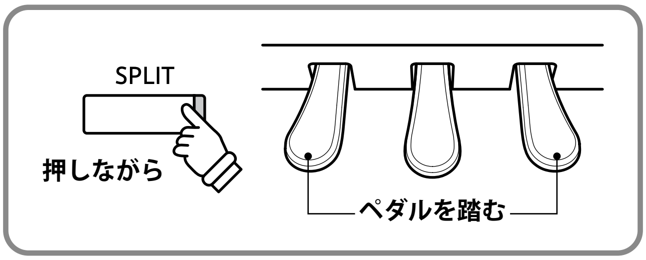
4 ハンズモードとは鍵盤を左右 2 つに分け､それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで 2 台のピアノのように使うことができます。初期設定ではスプリットポイントは F3（ファ）に設定されています。

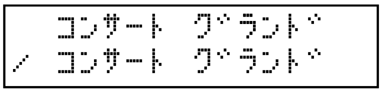
*4 ハンズモードはベーシックセッティング（P.48）からでも入ることができます。

4 ハンズモードに入る

［SPLIT］ボタンを押しながらダンパーペダル（右ペダル）とソフトペダル（左ペダル）を踏みます。［SPLIT］ボタンが点滅します。ディスプレイ上段に右側の音色、下段に左側の音色が表示されます。

* 電源オン時は両方ともコンサートグランドに設定されています。





* 通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は 2 オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は 2 オクターブ上がります。また左側の鍵盤にはロアーオクターブシフトを設定することができます。（P.63 参照）

スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[SPLIT] ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。

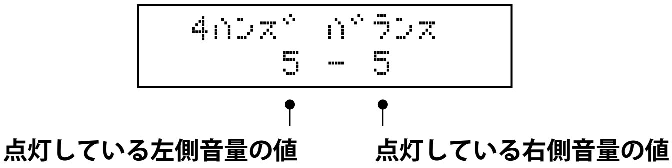
右側・左側の音色変更

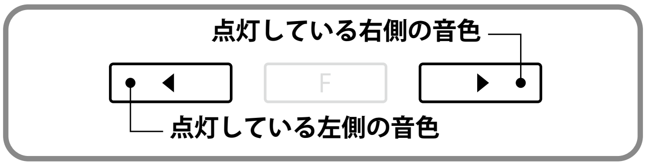
右側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

左側の音色は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

右側・左側の音量バランスの設定

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで右側と左側の音量バランスを設定することができます。





4 ハンズモードを終了する

再度［SPLIT］ボタンを押します。［SPLIT］ボタンが消灯します。

* スプリットモードと 4 ハンズモードの各設定方法は似ていますが、それぞれ個別に設定されます。例えばスプリットモードで設定した音量バランスは、4 ハンズモードの音量バランスに影響しません。

メトロノームを使う

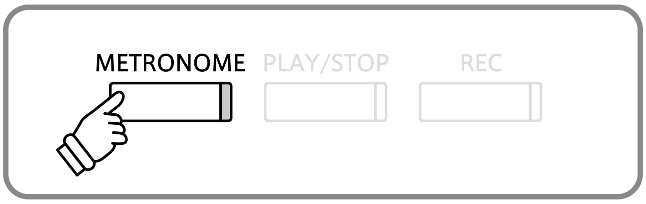
メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス / ロック / バラード / ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

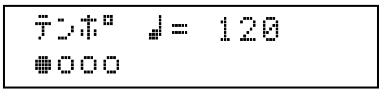
■メトロノームの ON / OFF

［METRONOME］ボタンを押します。［METRONOME］ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。

ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

再度［METRONOME］ボタンを押すとメトロノームが止まり、［METRONOME］ボタンが消灯します。

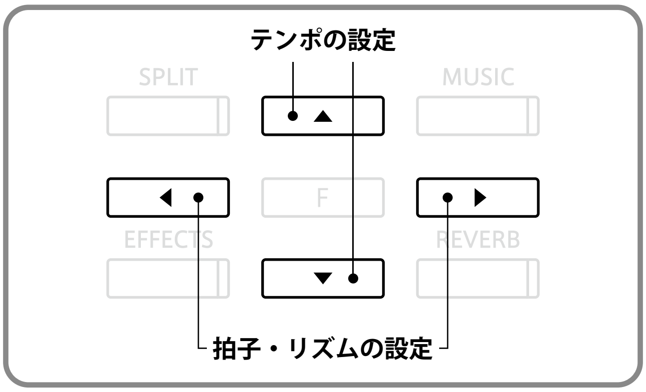




■テンポの設定とメトロノームの拍子・リズムの設定

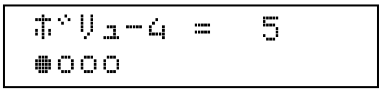
メトロノームが表示中に［UP / DOWN］ボタンを押すとテンポの値が変わります。値は 10 ～ 400 の範囲で設定できます（3/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子のときは、20 ～ 800）。値は 1 分間の拍数を表しています。

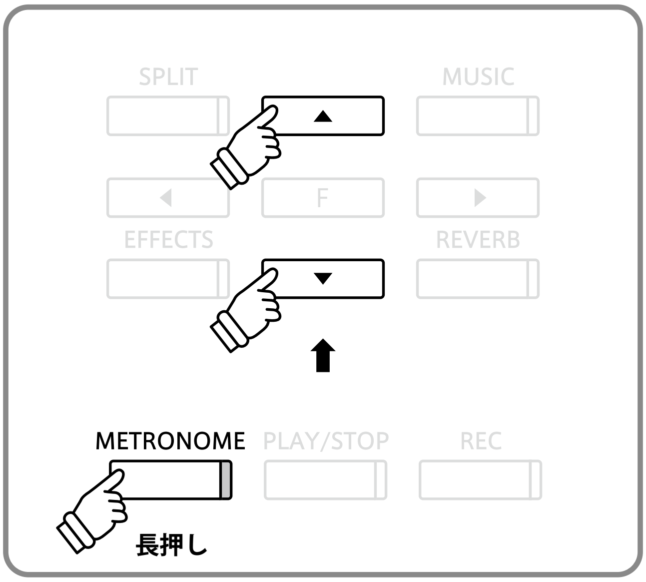
メトロノームが表示中に［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと拍子・リズムが変わります。拍子は 1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。リズムは 100 種類より選択することができます。（P.85 をご参照ください。）



■メトロノーム・リズムの音量設定

メトロノームが表示中に［METRONOME］ボタンを長押しするとディスプレイにその音量の値が表示されます。［UP / DOWN］ボタンを押すと音量が変わります。値は 1 ～ 10 の範囲で設定することができます。





レジストレーションについて

レジストレーションとは音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶することです。この設定はボタン操作ひとつで記憶した設定を呼び出すことができます。

レジストレーションは以下の設定をボタンに対応した番号に 8 個まで記憶することができます。

通常設定
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
デュアル / スプリットバランス、スプリットポイント
リバーブ、エフェクト、トーンコントロールの設定

バーチャルテクニシャン（P.52）
ボイシング
ダンパーレゾナンス
ストリングレゾナンス
キーオフエフェクト
タッチカーブ
音律の設定
ストレッチチューニング

ベーシックセッティング（P.42）
ウォール EQ
チューニング

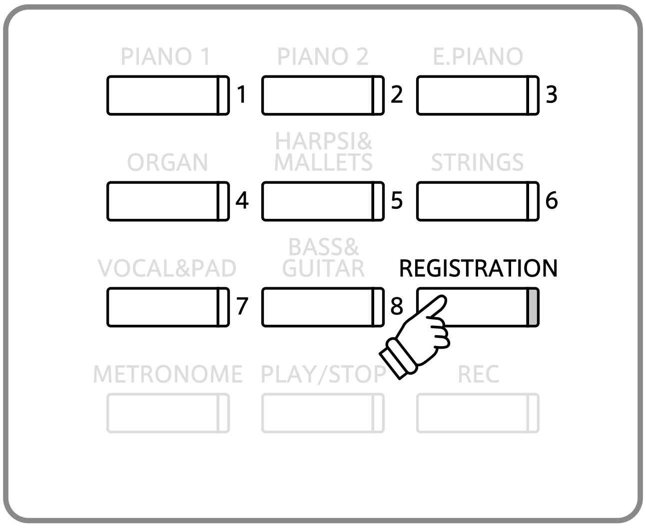
キーセッティング（P.62）
ロアーオクターブシフト
ロアーペダルの ON / OFF
レイヤーオクターブシフト
レイヤーダイナミクス
ダンパーホールドの ON / OFF

レジストレーションを呼び出す

［REGISTRATION］ボタンを押します。あらかじめ記憶されたレジストレーションが呼び出され、ディスプレイには設定された音色名が表示されます。

このときレジストレーション選択ボタン 1 ～ 8 のいずれかを押すと、その番号に割り当てられたレジストレーションを呼び出すことが出来ます。

再度［REGISTRATION］ボタンを押すとレジストレーション選択状態を抜けて通常の演奏状態に戻ります。



レジストレーションに記憶させる

［REGISTRATION］ボタンを長押しすると、レジストレーション選択ボタン 1 ～ 8 が点滅します。

設定を記憶させたい番号のレジストレーション選択ボタンを押します。「ピー」という音が鳴り、レジストレーションに設定が記憶されます。

レジストレーションを初期状態に戻す

［REGISTRATION］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンを押しながら電源を入れると、レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことができます。

デモ曲を聴く

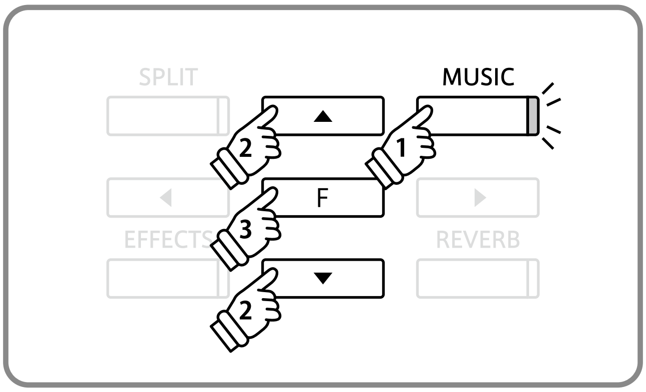
CA93 / 63 には各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内臓デモ曲についてはデモ曲一覧（P.82）をご参照ください。

1. デモ曲モードに入る

［MUSIC］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「デモキョク」を選んで［FUNCTION］ボタンを押すとデモ曲が再生されます。

ミュージック
デモキョク

* このとき、[RIGHT]、[LEFT]、[PLAY / STOP] ボタン、音色ボタンを押してもデモ曲が再生されます。

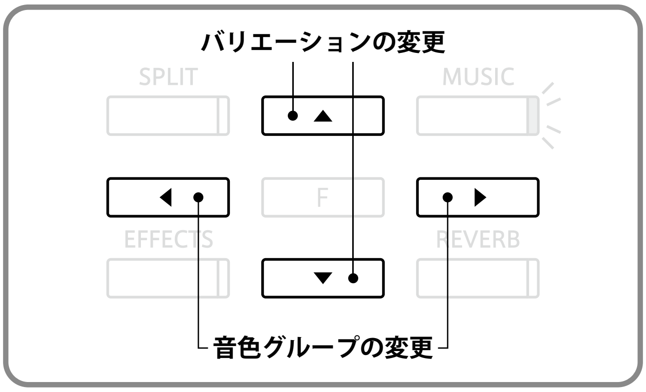


2. デモ曲を選択する

音色ボタンを押して聴きたいデモ曲を選びます。または［UP］、［DOWN］、［RIGHT］、［LEFT］ボタンでも選択することができます。

再生中に音色ボタン、または十字キーを押すと、曲を変更することができます。

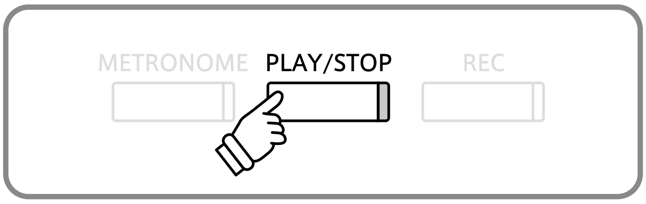
デモ
コンサート グランド



3. デモ曲を停止してデモ曲モードを終了する

再生中に［PLAY / STOP］ボタンを押すとデモ曲が停止します。

［MUSIC］ボタンを押すとデモ曲モードを終了します。

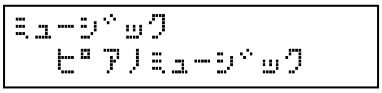


ピアノミュージックを聴く

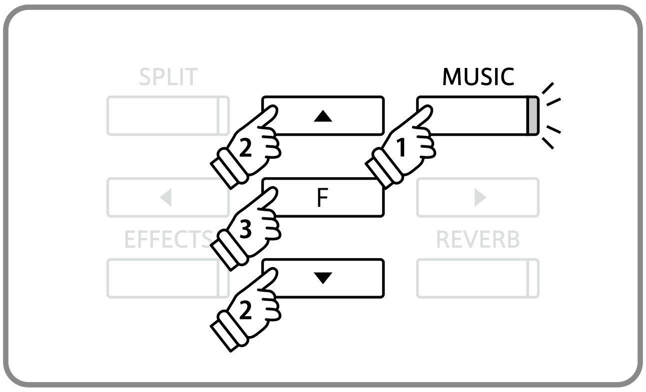
CA93 / 63 には発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品 29 曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。曲名についてはピアノミュージック曲名一覧（P.83）をご参照ください。

1. ピアノミュージックモードに入る

［MUSIC］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「ピアノミュージック」を選んで［FUNCTION］ボタンを押します。

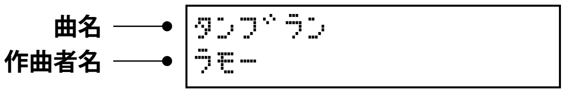


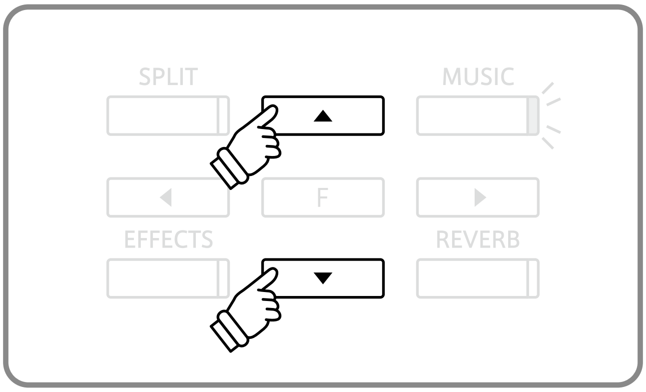
*[RIGHT]、[LEFT] ボタンでも入ることができます。また [PLAY / STOP] ボタンを押すと曲が再生されます。



2. 曲を選択する

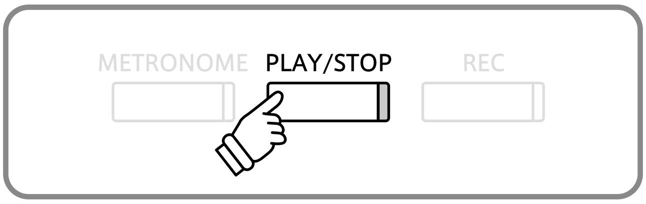
［UP / DOWN］ボタンを押して聴きたい曲を選びます。ディスプレイの上段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。





3. 曲を聴く

［PLAY / STOP］ボタンを押すと曲が再生されます。また、レッスンの練習曲同様、片方のパートだけを再生することができます。詳しくは P.26 をご覧ください。



4. 曲を停止してピアノミュージックモードを終了する

再生中に［PLAY / STOP］ボタンを押すと曲が停止します。
［MUSIC］ボタンを押すとピアノミュージックモードを終了します。

レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CA93 /CA63 はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンをすることができます。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。レッスン曲集の種類についてはレッスン曲集一覧（P.83）をご参照ください。

レッスン機能を使って

内蔵曲集から 1 曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートの演奏を録音して聴いてみる。

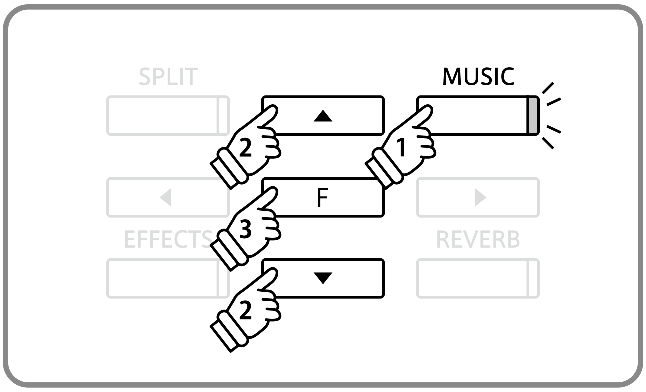
* これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
* 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。
* 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。
* 練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用下さい。
* バッハ・インヴェンションの強弱起号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。

1. レッスンモードに入る

［MUSIC］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「レッスン」を選んで［FUNCTION］ボタンを押します。

```
ミュージック
  レッスン
```

*[RIGHT]、[LEFT] ボタンでも入ることができます。また [PLAY / STOP] ボタンを押すと練習曲が再生されます。



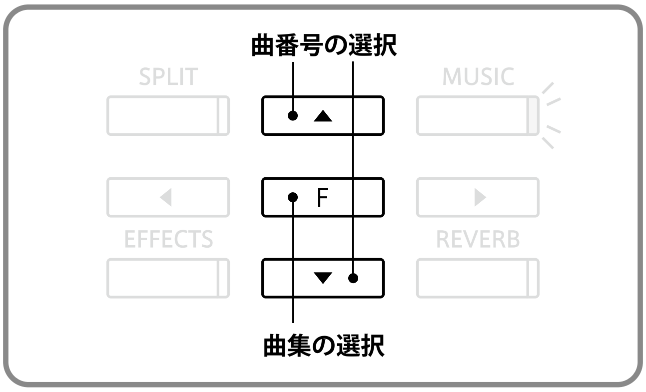
2. 練習したい曲を選択する

練習したい曲を選びます。［UP / DOWN］ボタンで曲番号の選択、［FUNCTION］ボタンで曲集の選択をすることができます。

［MUSIC］ボタンを押しながら鍵盤でも曲番号の選択が可能です。

再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。

曲集名 - 曲番号 → バイエル -001
演奏小節とテンポ → Bar= 1- 1 ♩=092



2 練習曲を聴く

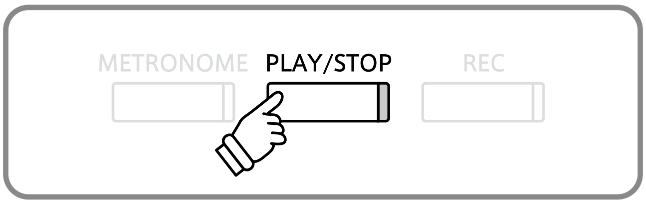
ここではバイエル、チェルニーなどの練習曲を聴く方法を説明します。

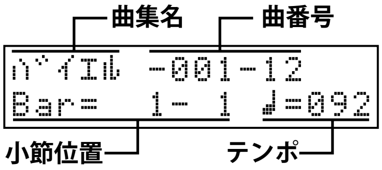
1. 練習曲を聴く

（前ページ、曲を選択した後）

［PLAY / STOP］ボタンを押します。メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲が再生されます。

＊この間は現在の位置より 1 小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。



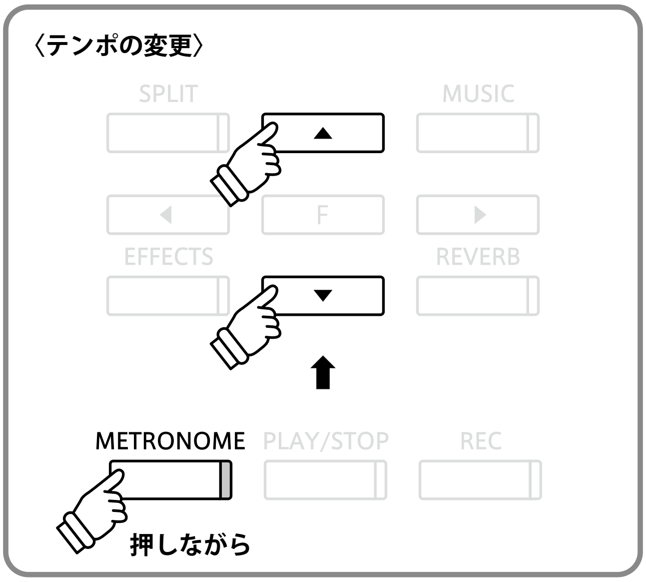


見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、［METRONOME ］ボタンをオンにします。

テンポを変更して聴きたい場合には、［METRONOME ］ボタンを押しながら［UP / DOWN］ボタンを押します。元のテンポに戻す場合には［UP / DOWN］ボタンを同時に押します。

［PLAY / STOP］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。もう一度［PLAY / STOP］ボタンを押すと、1 小節メトロノームが鳴った後、止めた小節の最初から再生が始まります。

最初から再生したい場合には、［PLAY / STOP］ボタンを押して演奏を止めてから、［EFFECTS］と［REVERB］ボタンを同時に押します。



2. レッスンモードを終了する

［MUSIC］ボタンを押すとレッスンモードを終了します。

3 練習曲の途中から聴く / 片手で練習する

ここでは練習曲の途中から聴く方法と、練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法を説明します。

練習曲の途中から聴く

1. 聴きたい曲を選択した後、［EFFECTS］または［REVERB］ボタンを押します。［EFFECTS］ボタンを押すと 1 小節戻り、［REVERB］ボタンを押すと 1 小節進みます。押し続けると早く進み（戻り）ます。

2. ［PLAY / STOP］ボタンを押すと 1 小節メトロノームが鳴った後、指定した小節から再生が始まります。

片手で練習する

1. 練習曲を選択した後、［RIGHT］または［LEFT］ボタンで練習したいパートのバランスを設定します。
右手パートを練習したいときは左パートのバランスを大きく、左手パートを練習したいときは右パートのバランスを大きくします。

2. ［PLAY / STOP］ボタンを押すと 1 小節メトロノームが鳴った後、セットしたバランスで再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

3. ［METRONOME］ボタンを押しながら［UP / DOWN］ボタンを押してテンポを変更できます。遅いテンポで練習したい場合には、［DOWN］ボタンを押します。［UP］ボタンを押すと速くなります。元のテンポに戻す場合には［UP / DOWN］ボタンを同時に押します。

練習曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合
[LEFT] ボタンを押します。左の値を大きくすると練習曲の右手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
左の値を 9 にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

練習曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合
[RIGHT] ボタンを押します。右の値を大きくすると練習曲の左手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
右の値を 9 にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

* 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消して下さい。

* バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

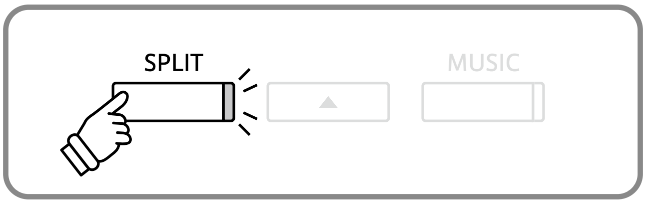
4 フレーズを指定して練習する

ここでは練習曲の中の小節位置を 2 ヶ所指定してその区間を繰り返し再生したり（リピート再生）、繰り返して練習をする方法を説明します。

1. フレーズの始まり（A 点）の指定

練習曲を選択し再生します。繰り返し演奏を始めたい位置まで再生が進んだら［SPLIT］ボタンを押します。

繰り返しの最初の小節が設定され、［SPLIT］ボタンのランプが点滅します。




```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar=  5- 1 ♩=092
```

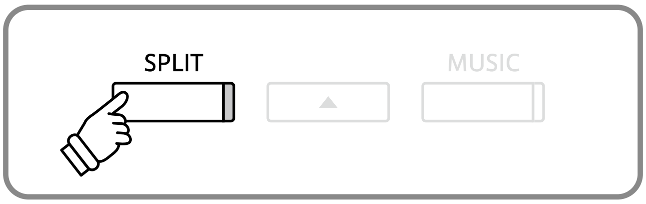
2. フレーズの終わり（B 点）の指定

繰り返し演奏を終わりたい位置まで再生が進んだらもう一度［SPLIT］ボタンを押します。

繰り返しの終わりの小節が設定され、［SPLIT］ボタンが点灯します。

これで繰り返し区間が決定し、この小節の再生が終了すると A 点に戻って再生を続けます。

リピート区間を設定した後、［RIGHT］または［LEFT］ボタンで練習したいパートのバランスを設定すると片手練習ができます。




```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar= 10- 2 ♩=092
```

3. 繰り返し演奏の解除

もう一度［SPLIT］ボタンを押すと繰り返し再生が解除され、通常の再生を続けます。

* ここで設定したリピート区間（A 点と B 点）は、別の曲を選ぶと解除されます。

また、リピート区間は、停止中に［EFFECTS］ボタン、［REVERB］ボタンで小節位置を選んで設定することもできます。ただし最初の小節より前の位置に終わりの小節を設定することはできません。

5 練習曲に合わせて録音する

ここでは練習曲に合わせて練習しながらそれを聞いてチェックする方法を説明します。

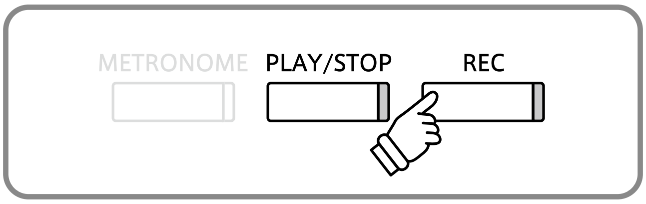
* リピート再生の設定をしている場合、リピートは無効になります。

1. 録音をする

練習曲を選択し［REC］ボタンを押します。［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯し、メトロノームが 1 小節鳴った後、練習曲の再生と演奏の録音が始まります。

録音をはじめる前に、［REVERB］ボタンと［EFFECTS］ボタンで録音開始位置を変えることができます。

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで練習曲の右手、左手パートの音量を変えることができます。

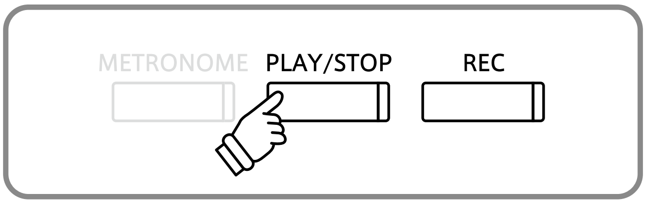


2. 録音の終了

［PLAY/STOP］ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが消灯します。

録音した演奏は［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンを同時に押すと消去することができます。

* 録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。



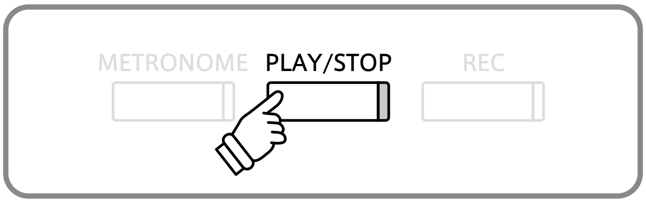
3. 録音した演奏を聴く

もう一度［PLAY / STOP］ボタンを押します。メトロノームが 1 小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

［REVERB］ボタンと［EFFECTS］ボタンで再生開始位置を変えることができます。

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで練習曲の右手、左手パートの音量を変えることができます。

さらにもう一度［PLAY / STOP］ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。



6 指のトレーニング機能を使う

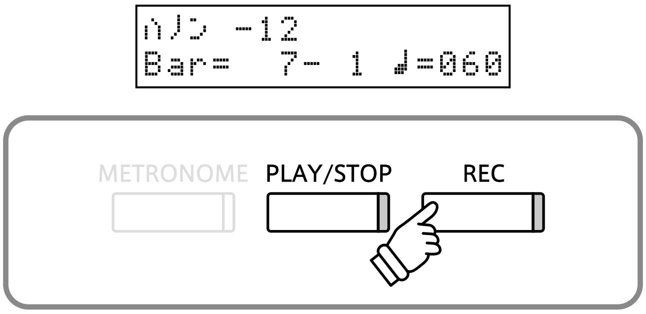
指のトレーニング機能では内蔵されている曲集「ハノン」（第一部 20 曲）を演奏・録音することによって、タッチのばらつき等の評価がディスプレイに表示され、自分の演奏をチェックすることができます。練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用ください。また他の練習曲同様、見本曲として聴くこともできます。

1. ハノンを選択し録音する

曲集選択時にハノンを選択し、録音したい曲を選びます。［REC］ボタンを押すと［REC］ボタンのランプと［PLAY / STOP］ボタンが点灯し、メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲の再生と演奏の録音が始まります。

録音をはじめる前に、［REVERB］ボタンと［EFFECTS］ボタンで録音開始位置を変えることができます。

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで練習曲の右手、左手パートの音量を変えることができます。

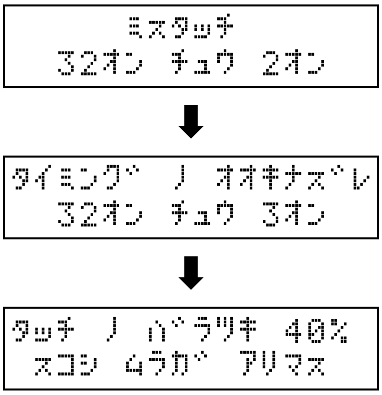


2. 評価を見る

［PLAY/STOP］ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、右の 3 種類の評価結果が数秒ずつ繰り返し表示されます。

録音した演奏は［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンを同時に押すと消去することができます。

* 録音した演奏は別の練習曲を選ぶと消去されます。



3. 録音した演奏を聴く

もう一度［PLAY / STOP］ボタンを押します。メトロノームが 1 小節鳴ったあと練習曲と録音した演奏が再生されます。評価結果を表示中に、録音した自分の演奏を再生してチェックすることができます。

さらにもう一度［PLAY / STOP］ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。

［UP］、［DOWN］ボタン、または [FUNCTION] ボタンを押すと評価結果の表示を終了し、練習曲選択画面に戻ります。

* 評価結果の表示を終了しても、録音した演奏の再生ができます。

コンサートマジックを楽しむ

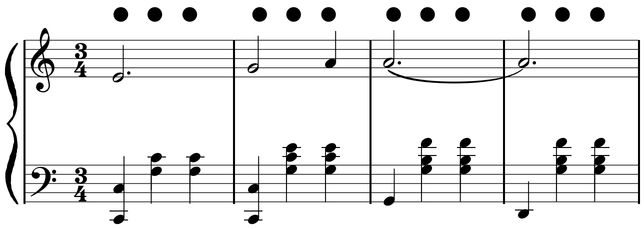
1 コンサートマジックとは？

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。CA93 / 63 にはコンサートマジック曲を 88 曲内蔵しており、下記の 3 つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名についてはコンサートマジック曲名一覧（P.84）をご参照ください。

■マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

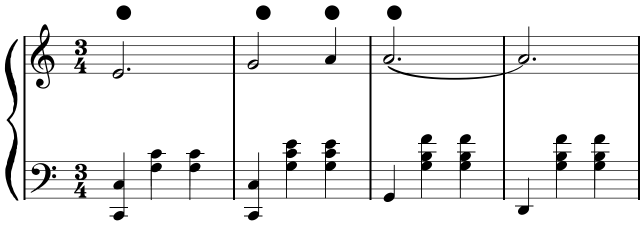
＊「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



■マジカルメロディーモード

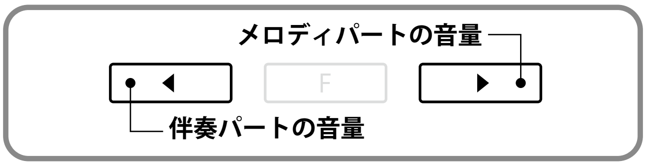
メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

＊「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



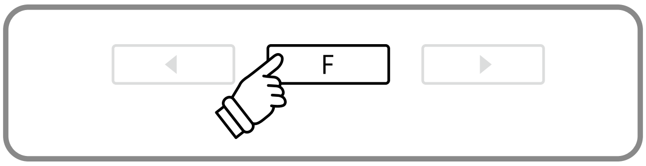
■マジカルメロディー＆キーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。［RIGHT / LEFT］ボタンで音量バランスを調整することにより自動演奏のメロディパートや伴奏パートを消すことができます。



■モードの選び方

コンサートマジック中に、[FUNCTION] ボタンを押すとモードが変更されます。初期設定ではマジカルタクトモードになっています。



2 コンサートマジックを演奏しよう

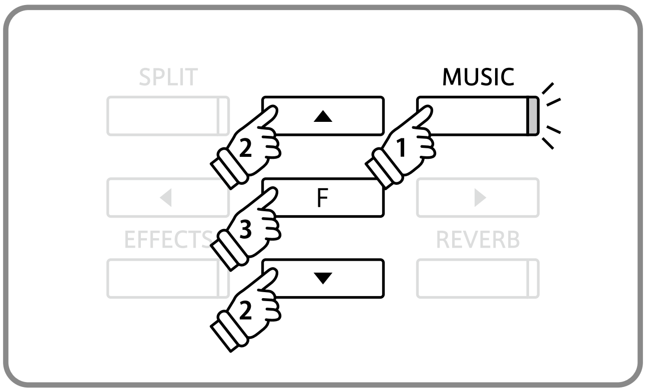
ここでは、内臓のコンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. コンサートマジックモードに入る

［MUSIC］ボタンを押してモード選択をします。［UP / DOWN］ボタンを押すごとモードが切り替わりますので、「コンサートマジック」を選んで［FUNCTION］ボタンを押します。

```
ミュージック
　コンサートマジック
```

*[RIGHT]、[LEFT] ボタンでも入ることができます。また [PLAY / STOP] ボタンを押すとコンサートマジックが再生されます。

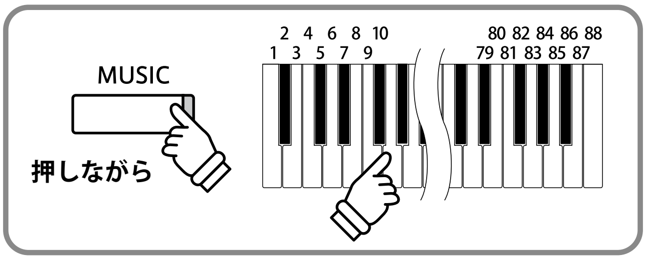


2. 曲を選択する

［MUSIC］ボタンを押しながら鍵盤を押します。88 曲のコンサートマジック曲は、各鍵盤に 1 曲ずつ割り当てられており、鍵盤で曲を選択します。

［UP / DOWN］ボタンを押して曲を変更することもできます。

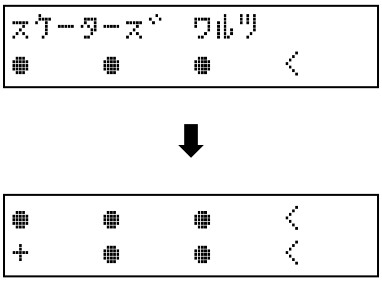
```
No.57
スケーターズ ワルツ
```



3. コンサートマジックを楽しむ

ひとつの鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸（●）がプラス（+）表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。



通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の 2 パートからできており、［LEFT］、［RIGHT］ボタンで 2 パートの音量バランスを調整することができます。

4. コンサートマジックモードを終了する

［MUSIC］ボタンを押すとコンサートマジックモードを終了します。

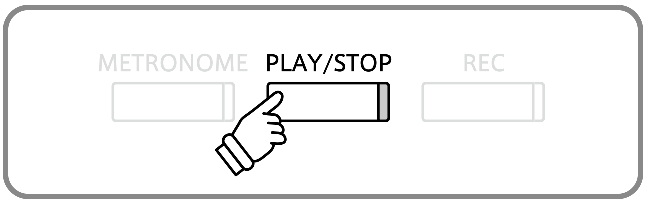
3 コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

ランダム再生

コンサートマジックモードに入り曲選択をした後、［PLAY / STOP］ボタンを押します。その後ストップするまでコンサートマジック内蔵曲がランダムに演奏されます。

［METRONOME］ボタンを押しながら［UP / DOWN］ボタンを押して曲のテンポを変更することができます。

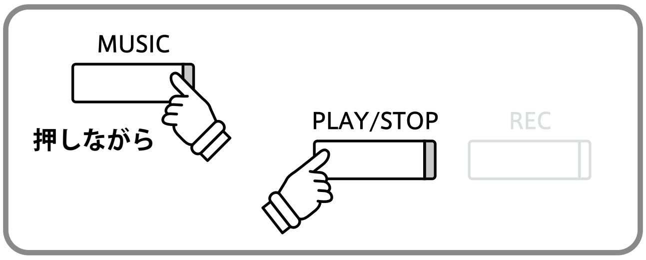


グループ再生

コンサートマジックモードに入り曲選択をした後、［MUSIC］ボタンを押しながら［PLAY / STOP］ボタンを押します。選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.21 の「ドレミの歌」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.1 ～ No.27 のグループ「子供の曲」を繰り返し再生します。

［METRONOME］ボタンを押しながら［UP / DOWN］ボタンを押して曲のテンポを変更することができます。



様々な機能を楽しむ

1 CA93 / 63 の録音機能について

CA93 / 63 は自分の演奏を本体に録音したり、USB メモリ内に直接録音（保存）したりすることができます。

フォーマット形式について

CA93 / 63 では下記のデータ、フォーマットにて録音することができます。

本体メモリ	
内部フォーマット形式	
USB メモリ	
MP3 形式	ビットレート：192Kbps 固定、サンプリング周波数：44.1KHz、ステレオ
WAV 形式	サンプリング周波数：44.1kHz、16bit、ステレオ

本体録音について

・CA93 / 63の総記憶容量は、約90,000音*です。録音中に記憶容量がいっぱいになったときは[PLAY / STOP]ボタンと[REC]ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
・レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。
・パート1 に既に録音されているソングのパート2 に録音するときにパート1 の演奏を再生しないでパート2 に録音したい場合は、録音モードに入る前に再生モードでプレイパートを2に設定します。

* 総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量 5,000 音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約 3 〜 4 回の録音でき 10 〜 15 分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

録音中のパネル操作に関して

・音色変更は記憶されます。
・デュアルスプリットモードの移行は記憶されます。
・エフェクト設定の変更は記憶されず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
・テンポ変更は記憶されません。
・デュアルスプリットバランスの変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。
・タッチカーブ、トランスポーズボタンのON / OFF 変更は、記憶されません。再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音高で再生されます。

2 CA93 / 63 本体に録音する

CA93 / 63 は本体に 10 曲（10 ソング）まで録音して再生することができます。それぞれのソングは 2 つのパートから構成されています。

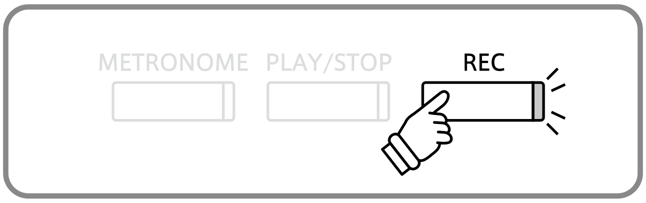
① 1 つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。

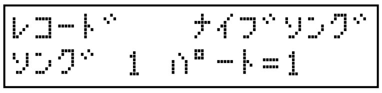
② 2 つのパートを使えば右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

1. 録音モード（本体）に入る

［REC］ボタンを押します。ディスプレイにソングとパートが表示され［REC］ボタンが点滅します。

*USB メモリが接続されている場合は USB 録音の画面が表示されます。

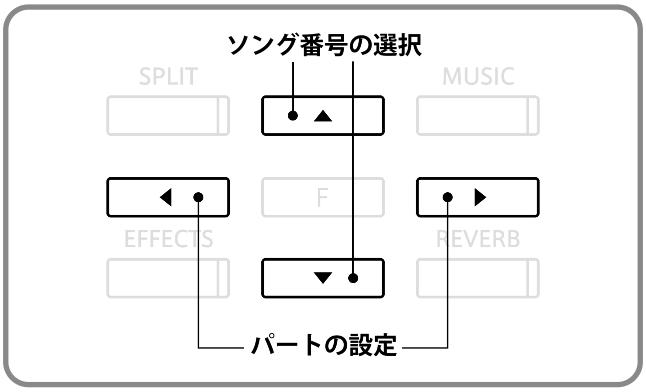


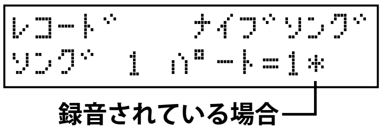


2. ソングとパートの設定をする

［UP / DOWN］ボタンを押して録音したいソング番号を選びます。［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと録音したいパートを選ぶことができます。

すでに録音されているパートには、2 行目右に＊マークが付いています。このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

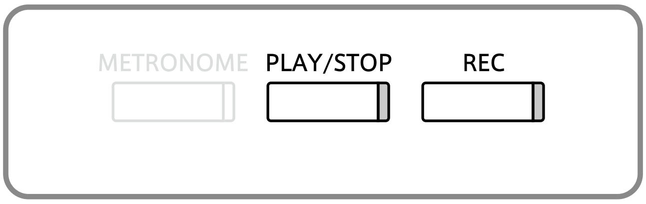




3. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。

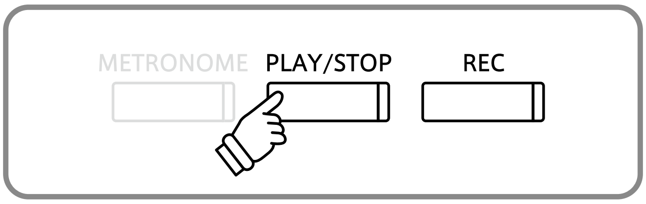
［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。録音中の音色変更も記憶されます。



4. 録音をストップする

演奏が終わったら［PLAY / STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。

ディスプレイは録音停止を表示した後、自動的に再生モードの表示になります。




```
ﾚｺｰﾄﾞ ｽﾄｯﾌﾟ
ｿﾝｸﾞ 1 ﾊﾟｰﾄ=1
```

➡

```
ﾌﾟﾚｲ      ﾅｲﾌﾞｿﾝｸﾞ
ｿﾝｸﾞ 1 ﾊﾟｰﾄ=1&2*
```

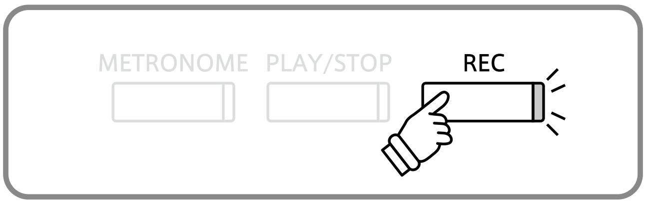
3 USB メモリに直接録音する

CA93 / 63 では、USB メモリに直接演奏を録音（保存）することができます。

1. 録音モード（USB メモリ）に入る

USB メモリを本体に接続し、［REC］ボタンを押します。［REC］ボタンが点滅します。

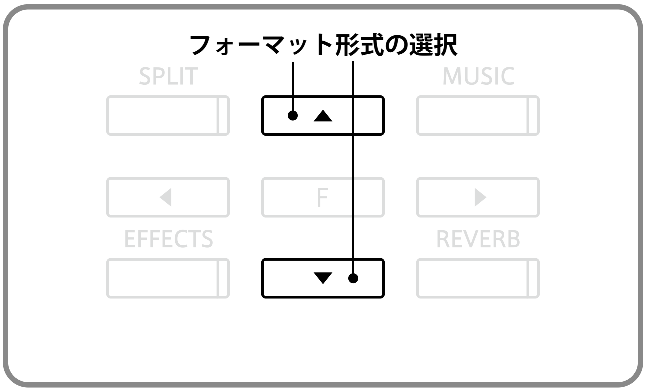
*USB メモリが接続されていない場合は本体録音の画面が表示されます。



2. 録音するファイル形式を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンを押して録音したいフォーマット形式を選びます。フォーマット形式は MP3 か WAV を選ぶことができます。

```
ﾚｺｰﾄﾞ   ｶﾞｲﾌﾞｿﾝｸﾞ
     ﾌｫｰﾏｯﾄ = MP3
```



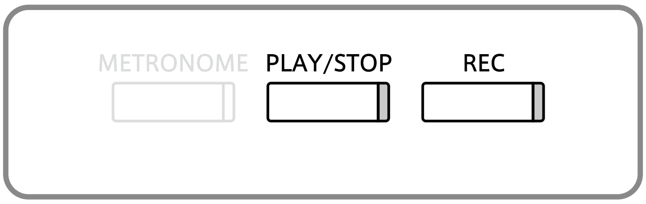
3. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。

［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。録音中の音色変更も記憶されます。

* オーディオ録音をスタートする前、または録音中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。このときメトロノーム音は録音されません。
ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。

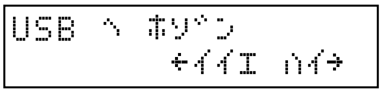
* ※録音中に無音の状態が 10 分間続くと、録音は自動的にストップします。

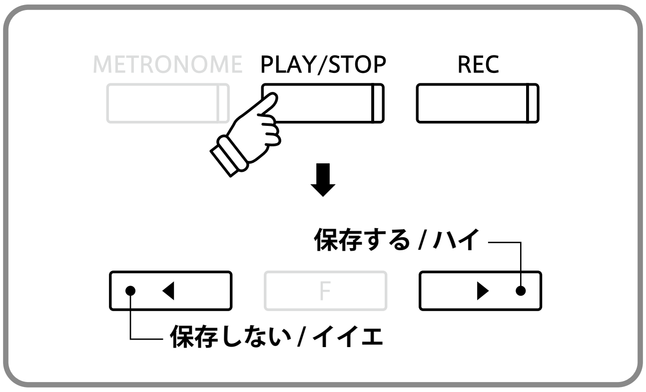


4. 録音をストップして保存する

演奏が終わったら［PLAY / STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。

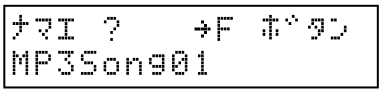
録音した演奏を USB メモリに保存するか決めます。保存する場合は [RIGHT] ボタンを、保存しない場合は [LEFT] ボタンを押してください。



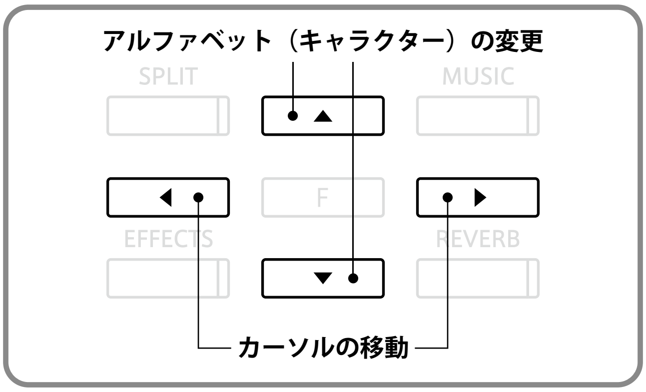


5. ソング名をつける

USB メモリに演奏を保存する際名前をつけます。［RIGHT / LEFT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。



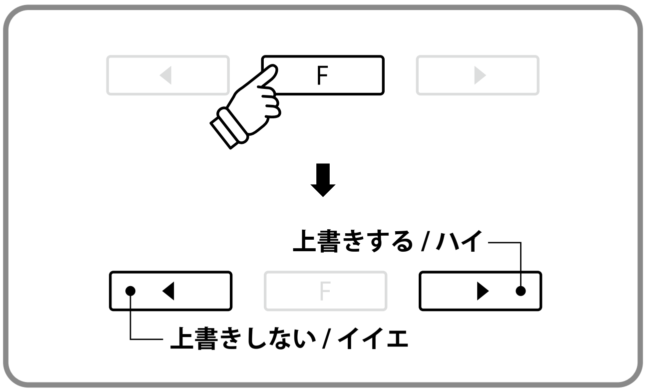
* 初めにファイル名候補として、MP3 の場合は「MP3SongXX」、WAV の場合は「WAVSongXX」と表示されます。「XX」には空いている曲の番号が入ります。



ソング名が決定したら［FUNCTION］ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。キャンセルした場合は 4 の画面に戻ります。

保存が終了すると自動的に再生モードの表示になります。

* 録音したファイルは、USB メモリ内のルートフォルダ（1 番上の階層）に保存されます。ディレクトリに保存することはできません。



使用できる文字に関して

0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}

ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｡	｢	｣	､	･

* 全角文字は使用できません。

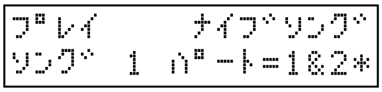
録音した演奏を聴いてみる

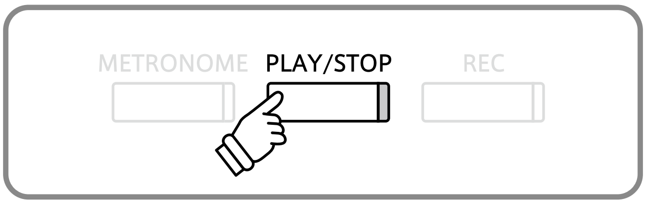
1 CA93 / 63 本体に録音された曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。録音直後に再生する場合は、2 より行ってください。

1. 再生モードに入る

［PLAY / STOP］ボタンを押します。ディスプレイにソングリストが表示され再生待機状態になります。

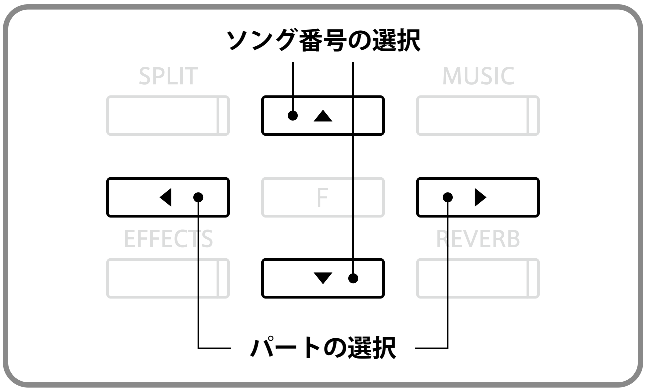




2. 聴きたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンを押して聴きたいソング番号を選びます。［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと聴きたいパートを選ぶことができます。

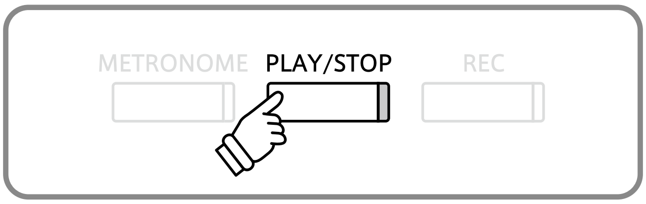
すでに録音されているパートには、2 行目右に＊マークが付いています。



3. 再生をスタートする

［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生がスタートします。演奏を停止するには、再度［PLAY / STOP］ボタンを押します。

再生待機状態のときに別の曲やパートを選択することができます。



4. 再生モードを終了する

音色ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

■再生可能なデータに関して

CA93/CA63 では以下のデータを再生することが可能です。

・本体に録音・保存した曲
・USB メモリ上にある SMF データ
・USB メモリ上にある MP3 データ（ビットレート : 8K~320bps、サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ）
・USB メモリ上にある WAV データ (サンプリング周波数 : 44.1kHz、16bit、ステレオ)

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

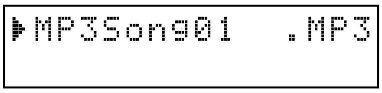
2 USB メモリ内の曲を聴く

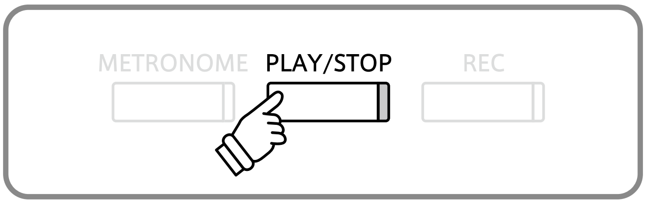
CA93 / 63 は USB メモリ内の曲（P.37 再生可能なデータに関して参照）も聴くことができます。オーディオデータを再生させながら、演奏することもできます。

1. 再生モードに入る

［PLAY / STOP］ボタンを押します。ディスプレイにソングリストが表示され再生待機状態になります。USB メモリが接続されている場合そのルートフォルダの内容が表示されます。

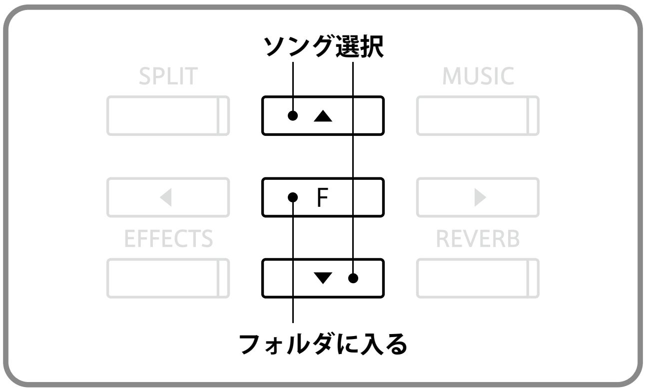
選択カーソル





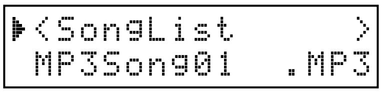
2. 聴きたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンを押して聴きたいソング名を選びます。フォルダを選択する場合にはフォルダ名を表示させた後に [FUNCTION] ボタンを押して下さい。



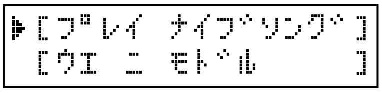
▌ソングリスト画面表示について

〈〉 はフォルダを表します



括弧がないものはソングを表します

本体内部再生モード（P.37）に移動します



ひとつ上のフォルダに戻ります

〈リスト画面イメージ〉

ルートフォルダ（1 番上の階層）にはありません。

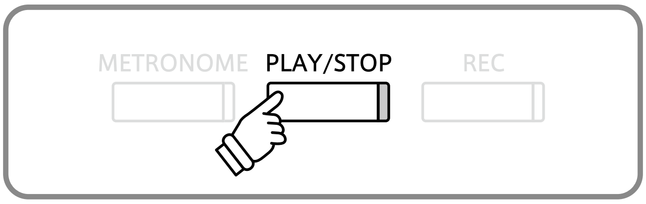
フォルダ

ソング

3. 再生をスタートする

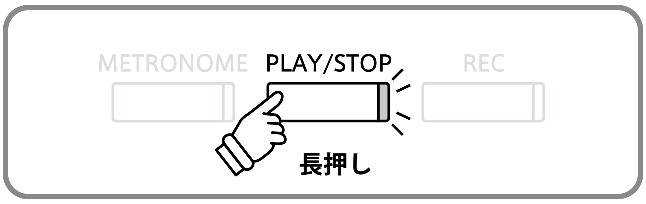
［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生がスタートします。演奏を停止するには、再度［PLAY / STOP］ボタンを押します。

再生待機状態のときに次の曲や本体に保存した曲を選択することができます。



〈チェイン再生〉

［PLAY / STOP］ボタンを長押しすることで、チェイン再生となります。現在のフォルダ内にある曲が再度［PLAY / STOP］ボタンを押すまで順番に再生されます。チェイン再生時は、LED が点滅します。

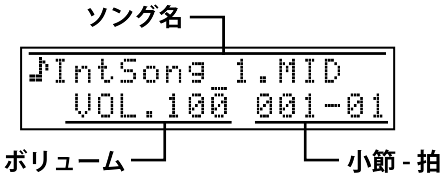


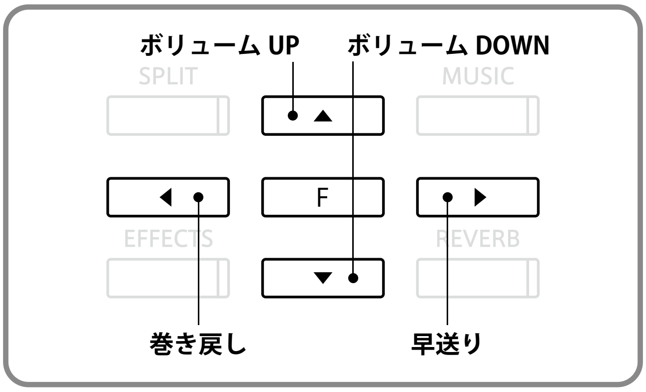
4. 再生モードを終了する

音色ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

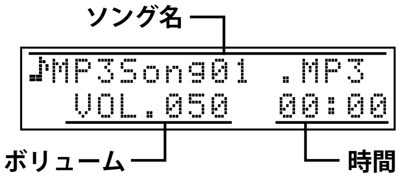
SMF・MP3・WAV 再生中の画面表示とボタンについて

〈SMF データの場合〉





〈MP3・WAV データの場合〉



* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器（ピアノ）はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した波形は小さくなります。そこに大きな音量差が生まれるため、音量調整やデフォルトの音量設定は必須となります。

*CA93 / 63 に搭載されていない音色を含む曲（GS や XG、GM ソングなど）を再生した場合、元の曲の音色が正確に再現されない場合があります。（CA93 / 63 は GM 対応音源を搭載しておりません）

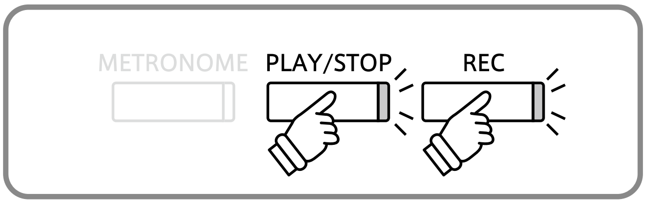
* フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などに CA93 / 63 が認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。CA93 / 63 が認識できる文字については、P36 を参照下さい。

本体に録音した演奏を消去する

ここでは録音に失敗したり、いらなくなった曲を 1 パートづつ消去する方法を説明します。
USB メモリ内の曲を消去する場合は設定メニューの「USB デリート」（P.78）から行ってください。

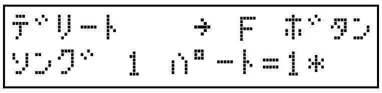
1. 消去モードに入る

［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンを同時に押します。両ボタンが点滅します。



2. 消去したいソングとパートを選ぶ

［UP / DOWN］ボタンを押して消去したいソング番号を、［RIGHT / LEFT］ボタンでパートを選ぶことができます。



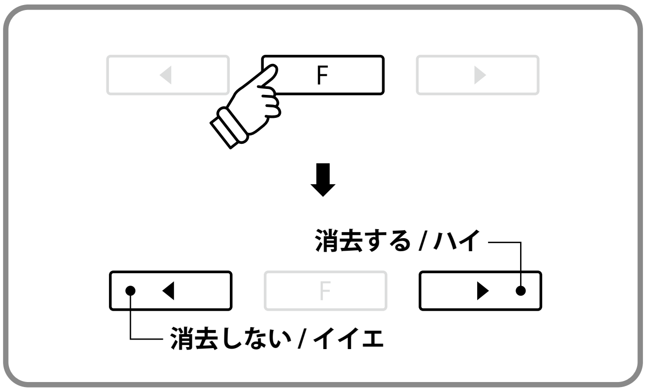
3. 消去する

［FUNCTION］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。削除する場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

キャンセルした場合［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生モードになります。

〈すべてのソングを消去したい場合〉

録音されているすべてのソングを消去したい場合は、［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンを押しながら電源を入れてください。



演奏を録音再生する

設定メニューについて

CA93 / 63 に演奏を楽しむためのさまざまな便利な設定をすることができます。各種設定をまとめて設定メニューと呼びます。

設定メニューの入り方

通常音色画面のときに、[FUNCTION] ボタンを押します。

設定メニュー

設定メニューの内容は以下の通りです。

ベーシックセッティング
演奏に関するセッティングをしたり、各種設定を保存したりすることができます。

バーチャルテクニシャン
ピアノの調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに合わせることができます。

キーセッティング
スプリット演奏やデュアル演奏のときに関わるセッティングをすることができます。

MIDI セッティング
MIDI に関するセッティングをすることができます。

USB メニュー
USB メモリに関する操作をすることができます。

ベーシックセッティングについて

ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

▌ベーシックセッティングの内容と電源 ON 時の設定

種類	初期設定
1. キートランスポーズ	0 C
2. ソングトランスポーズ	0
3. トーンコントロール	オフ
4. スピーカーボリューム	大きい
5. ヘッドホンボリューム	小さい
6. ウォール EQ	オフ
7. チューニング	440.0
8. ダンパーホールド	オフ
9. 4 ハンズ	オフ
10. ユーザーメモリー	-
11. ファクトリーリセット	-
12. 表示言語の設定	日本語

* ユーザーメモリーを設定した場合は、その設定にしたがいます。

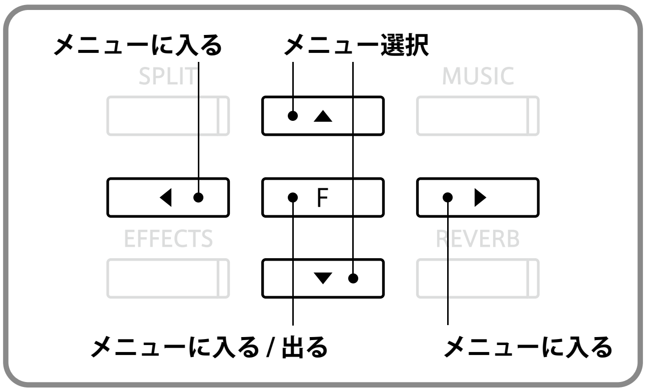
* CA63 は「6. ウォール EQ」がないため、チューニング以降の数字はひとつずつずれて表示されます。

▌ベーシックセッティングへ入る

［FUNCTION］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「ベーシックセッティング」を選んで［FUNCTION］ボタンか [RIGHT]、[LEFT] ボタンを押します。

ベーシックセッティングに入った後［FUNCTION］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。

セッテイメニュー
1.ベーシック セッティング



ベーシックセッティング

1 キートランスポーズ

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

1. ベーシックセッティング / キートランスポーズの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「キートランスポーズ」を選びます。

```
1-1 ｷｰ ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
       =    0 C
```

2. 移調値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとに 1 ずつ値を設定します。移調値は -12 ～ +12（全 2 オクターブ）の間で設定します。

設定が終了したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-1 ｷｰ ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
       =   +4 E
```

2 ソングトランスポーズ

USB から再生されるソング（SMF ファイル）、内部レコーダー、ピアノミュージック、レッスン、コンサートマジック等のソングを移調することができます。（デモ曲を移調することはできません。）

1. ベーシックセッティング / ソングトランスポーズの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ソングトランスポーズ」を選びます。

```
1-2ｿﾝｸﾞﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
       =    0
```

2. 移調値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとに 1 ずつ値を設定します。移調値は -12 ～ +12（全 2 オクターブ）の間で設定します。

設定が終了したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-2ｿﾝｸﾞﾄﾗﾝｽﾎﾟｰｽﾞ
       =   +2
```

3 全体の音質を変える（トーンコントロール）

トーンコントロールによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。トーンコントロールの種類は以下のようになっています。

トーンコントロールの種類

種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。

1. ベーシックセッティング / トーンコントロールの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「トーンコントロール」を選びます。

```
1-3 トーンコントロール
 = オフ
```

2. トーンコントロールの種類を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとトーンコントロールの種類が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

ユーザー設定をする場合は 3 に続きます。

```
1-3 トーンコントロール
 = ラウドネス
```

3. ユーザー設定をする

ユーザー設定をする場合、ユーザーを選択して［FUNCTION］ボタンを 1 秒ほど長押しするとユーザー設定に入ります。

［RIGHT / LEFT］ボタンで「Low」、「Mid」、「High」各音域を切り替えます。

［UP / DOWN］ボタン押して各音域の音量を－ 6 ～＋ 6 で設定します。

［FUNCTION］ボタンを押すとユーザー設定から通常トーンコントロール設定に戻ります。

設定したら音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

```
1-3 ユーザー Low
        =   0
```

4 スピーカーボリューム

初期設定は、『オオキイ』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

1. ベーシックセッティング / スピーカーボリュームの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「スピーカーボリューム」を選びます。

```
1-4 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞﾘｭｰﾑ
        =  ｵｵｷｲ
```

2. ボリュームの設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとにスピーカーボリュームの「オオキイ / チイサイ」が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-4 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞﾘｭｰﾑ
        =  ﾁｲｻｲ
```

5 ヘッドホンボリューム

初期設定は、『チイサイ』になっています。『オオキイ』に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

1. ベーシックセッティング / ヘッドホンボリュームの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ヘッドホンボリューム」を選びます。

```
1-5 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
        =  ﾁｲｻｲ
```

2. ボリュームの設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとにヘッドホンボリュームの「チイサイ / オオキイ」が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-5 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾎﾞﾘｭｰﾑ
        =  ｵｵｷｲ
```

6 ウォール EQ の設定（CA93 のみ）

ウォール EQ とは、響板スピーカーを搭載している CA93 のみの設定です。壁際に設置したときに適した音質に設定することができます。

1. ベーシックセッティング / ウォール EQ の設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ウォール EQ」を選びます。

```
1-6 ウォールEQ
        = オフ
```

2. ウォール EQ の ON / OFF を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すごとにウォール EQ の「オン / オフ」が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-6 ウォールEQ
        = オン
```

「オン」の場合
CA93 を壁際に設置したときに最適な音質になります。

「オフ」の場合
ステージなど、壁のない場所に設置したときに最適な音質になります。

* ヘッドホン使用時にはウォール EQ の効果はかかりません。

* この設定はユーザーメモリへの保存を推奨します。

7 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。合奏のときや CD の再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

1. ベーシックセッティング / チューニングの設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「チューニング」を選びます。

```
1-7 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
        = 440.0
```

* CA63 は「1-6」と表示されます。

2. ピッチを設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すごと 0.5 ずつピッチを設定します。ピッチは 427.0 ～ 453.0（Hz）の間で設定します。

設定が終了したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
1-7 ﾁｭｰﾆﾝｸﾞ
        = 440.5
```

* CA63 は「1-6」と表示されます。

8 ダンパーホールドの ON / OFF

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

1. ベーシックセッティング / ダンパーホールドの ON / OFF の設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ダンパーホールド」を選びます。

```
1-8 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
        = ｵﾌ
```

* CA63 は「1-7」と表示されます。

2.ON / OFF を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」か「オフ」を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。

オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。

```
1-8 ﾀﾞﾝﾊﾟｰ ﾎｰﾙﾄﾞ
        = ｵﾝ
```

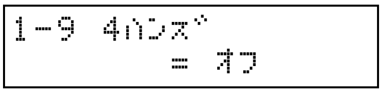
* CA63 は「1-7」と表示されます。

9 4ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

4ハンズモード（P.19）はベーシックセッティングからでも入ることができます。4ハンズモード中の操作は［SPLIT］ボタンとペダルを使って入ったときと同様です（ただしベーシックセッティングから抜けないと変更できません）。初期設定ではスプリットポイントはF3（ファ）に設定されています。

1. ベーシックセッティング / 4ハンズモードに入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「4ハンズ」を選びます。

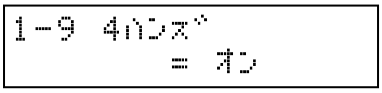


* CA63は「1-8」と表示されます。

2.4ハンズモードのON / OFFを切り替える

［UP / DOWN］ボタンを押すごとに4ハンズの「オン / オフ」が切り替わります。

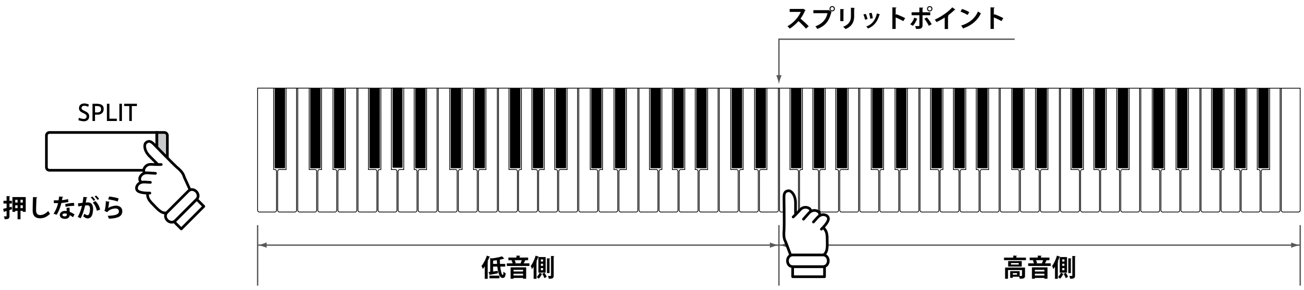
選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。



* CA63は「1-8」と表示されます。

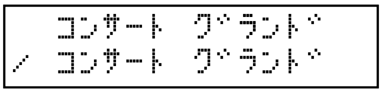
■スプリットポイントの変更

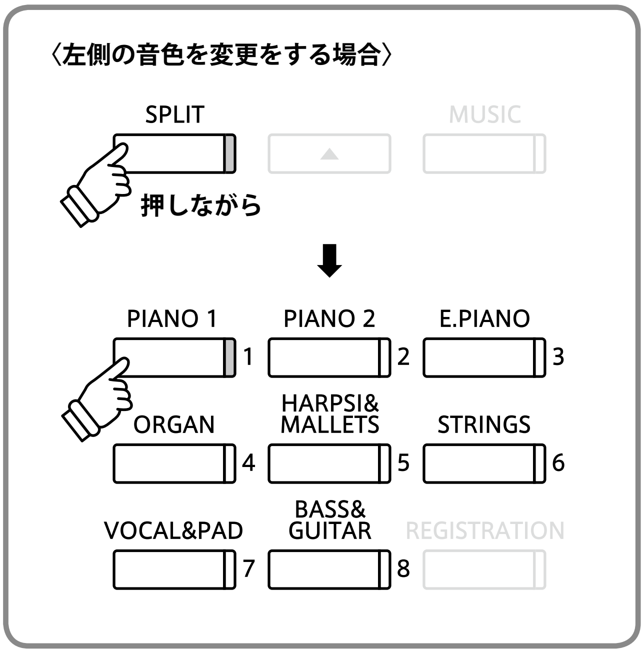
スプリットポイントを変更したい場合は、[SPLIT] ボタン を押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。



右側・左側の音色変更

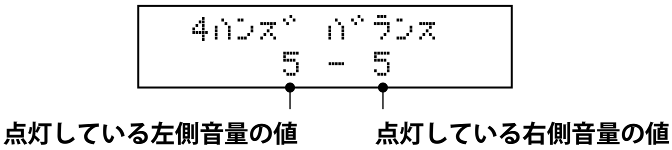
右側の音色は、音色ボタンを押して変更します。
左側の音色は、［SPLIT］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

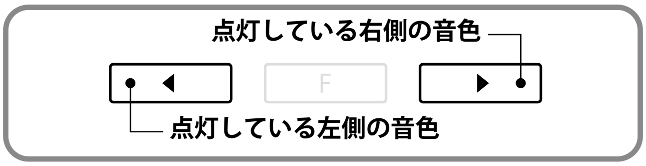




右側・左側の音量バランスの設定

［RIGHT］、［LEFT］ボタンで高音側と低音側の音量バランスを設定することができます。





4 ハンズモードを終了する

再度［SPLIT］ボタンを押します。［SPLIT］ボタンが消灯します。

10 ユーザーメモリーの使い方

CA93 / 63 は自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をユーザーメモリーと言います。記憶される内容は以下のとおりです。

ユーザーメモリーに記憶される内容

ベーシックセッティングで設定した内容
バーチャルテクニシャンで設定した内容
キーセッティングで設定した内容
メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム
ユーザー メモリー実行時に選択されている音色
ユーザー メモリー実行時の各音色ボタンで選ばれている音色
ユーザー メモリー実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング

1. ベーシックセッティング / ユーザーメモリーに入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ユーザーメモリー」を選びます。

```
1-10 ユーザ゛ー メモリー
 セーフ゛  (Recボ゛タン)
```

* CA63 は「1-9」と表示されます。

2. ユーザーメモリーを実行する

［REC］ボタンを押すとユーザーメモリーが実行されます。

ディスプレイに「セーブコンプリート」と表示されたら完了です。

音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

11 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

1. ベーシックセッティング / ファクトリーリセットに入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので､「ファクトリーリセット」を選びます。

```
1-11 ファクトリーリセット
 リセット  (Recボタン)
```

* CA63 は「1-10」と表示されます。

2. ファクトリーリセットを実行する

［REC］ボタンを押すとファクトリーリセットが実行されます。

* レジストレーションの設定を購入時の設定に戻すには…P.21
* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには…P.40

12 表示言語の設定

CA93 / 63 はディスプレイに表示される言語を日本語と英語の 2 言語より選択できます。

1. ベーシックセッティング / 表示言語の設定に入る

ベーシックセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ヒョウジゲンゴ」を選びます。

```
1-12 ヒョウジゲンゴ
 = ニホンゴ
```

* CA63 は「1-11」と表示されます。

2. 表示言語を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すと言語が切り替わりますので日本語か英語を選びます。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

バーチャルテクニシャンについて

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律 / 整調 / 整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

バーチャルテクニシャンはこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。またこれらの設定は、レジストレーションに記憶することができます。レジストレーションについては P.21 をご参照ください。

バーチャルテクニシャンの内容と電源 ON 時の設定

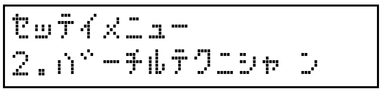
種類	初期設定
1. ボイシング	ノーマル
2. ダンパーレゾナンス	5
3. ストリングレゾナンス	5
4. キーオフエフェクト	5
5. タッチカーブ	ノーマル
6. 音律の設定	平均律（ピアノ）
7. 音律の主音の設定	C
8. ストレッチチューニング	ノーマル

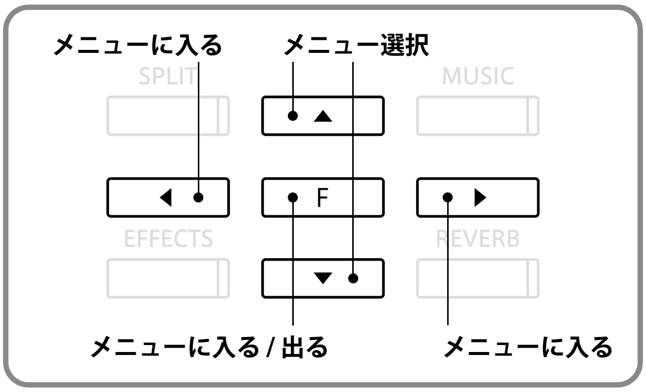
* ユーザーメモリーを設定した場合は、その設定にしたがいます。

バーチャルテクニシャンへ入る

［FUNCTION］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「バーチャルテクニシャン」を選んで［FUNCTION］ボタンか [RIGHT]、[LEFT] ボタンを押します。

バーチャルテクニシャンに入った後［FUNCTION］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。





バーチャルテクニシャン

1 ボイシング

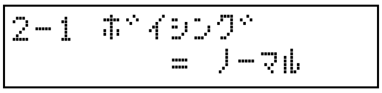
アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、6 種類のハンマータイプが選べます。

ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ 2	メロウ 1 よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト 2	ブライト 1 より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

1. バーチャルテクニシャン / ボイシングに入る

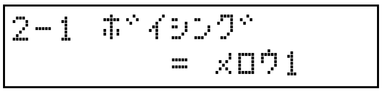
バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ボイシング」を選びます。



2. ボイシングの種類を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すとボイシングの種類が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。



2 ダンパーレゾナンス

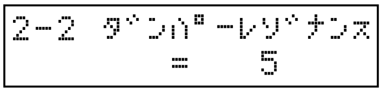
ダンパーペダル（P.13 参照）を踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定することができます。

ダンパーレゾナンスの効果がある音色

音色ボタン	CA93 / 63	
PIANO 1	コンサートグランド	メローグランド
	コンサートグランド 2	メローグランド 2
	スタジオグランド	ジャズグランド
	スタジオグランド 2	ジャズグランド 2
PIANO 2	ポップピアノ	ポップピアノ 2

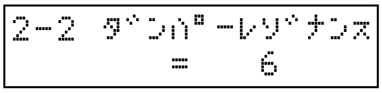
1. バーチャルテクニシャン / ダンパーレゾナンスに入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ダンパーレゾナンス」を選びます。



2. ダンパーレゾナンスの値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押してダンパーレゾナンスの値を設定します。



値は 1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く響きます。「オフ」の場合は共鳴音はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

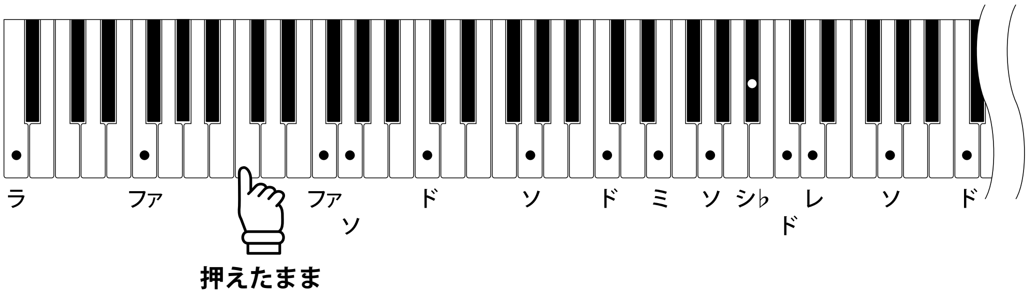
3 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。

ストリングレゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2 つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。

例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。



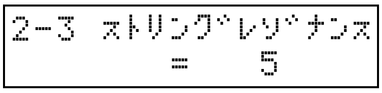
ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。CA93 / 63 ではこの現象もシミュレートしています。

ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。

ストリングレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

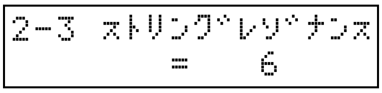
1. バーチャルテクニシャン / ストリングレゾナンスに入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので､「ストリングレゾナンス」を選びます。



2. ストリングレゾナンスの値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押してストリングレゾナンスの値を設定します。



値は 1 ～ 10､またはオフがあります｡「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴音はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

4 キーオフエフェクト

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

1. バーチャルテクニシャン / キーオフエフェクトに入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「キーオフエフェクト」を選びます。

```
2-4 キーオフエフェクト
          =    5
```

2. キーオフエフェクトの値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押してキーオフエフェクトの値を設定します。

```
2-4 キーオフエフェクト
          =    6
```

値は 1 ～ 10、またはオフがあります。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合効果はありません。

値を設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

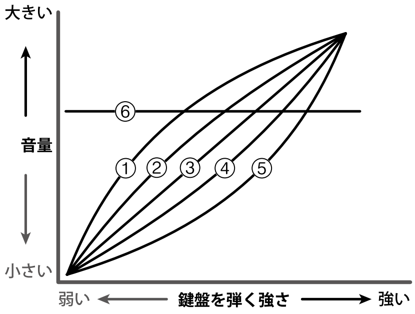
5-1 タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

CA93 / 63 では、6 種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

タッチカーブの種類

種類	効果
①ライト＋	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
③ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤ヘビー＋	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
⑥オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー 1 / 2	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。



1. バーチャルテクニシャン / タッチカーブに入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「タッチカーブ」を選びます。

```
2-5 タッチカーブ
= ノーマル
```

2. タッチカーブの種類を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すとタッチカーブの種類が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

ユーザー 1 / 2 を選択した場合は次のページに続きます。

```
2-5 タッチカーブ
= ライト
```

5-2 ユーザータッチカーブの作成

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. ユーザータッチカーブ作成モードに入る

（前ページ 2. からの続き）

ユーザータッチカーブを作成する場合は、ユーザー 1 またはユーザー 2 を表示させ、［REC］ボタンを押します。

```
2-5 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
=ﾕｰｻﾞｰ1(Recﾎﾞﾀﾝ)
```

2. ユーザータッチカーブを作成する

演奏します。このとき適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いて下さい。

演奏が終わりましたら、［PLAY / STOP］ボタンを押します。「アナライズコンプリート」と画面に表示されたら作成完了です。

音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
    ｱﾅﾗｲｽﾞ
    ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
```

6-1 音律の設定

CA93 / 63 ではピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

音律の種類

音律名	音律の説明
平均律（ピアノ） (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
純正律〈長調〉 (Pure major)	3 度と 5 度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
純正律〈短調〉 (Pure minor)	純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5 度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 (Meantone)	3 度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の 5 度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第 III 法 (Werkmeister) キルンベルガー第 III 法 (Kirnberger)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
平均律（フラット） (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
平均律 (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。
ユーザー音律 (USER)	オリジナルの音律を設定できます。

1. バーチャルテクニシャン / 音律の設定に入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「オンリツセッテイ」を選びます。

```
2-6 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
 = ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾋﾟｱﾉ)
```

2. 音律を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すと音律の種類が切り替わります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

ユーザーを選択した場合は次のページに続きます。

```
2-6 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
 = ｼﾞｭﾝｾｲﾘﾂ1
```

6-2 ユーザー音律の設定

ユーザー音律では各音のセント値（100 セント＝半音）が設定できます。

1. ユーザー音律設定モードに入る

（前ページ 2. からの続き）

ユーザー音律を設定する場合は、ユーザーを表示させ、［FUNCTION］ボタンを 1 秒ほど長押しします。

```
2-6 オンリツ セッテイ
 = ユーザ゛ー →Fナカ゛オシ
```

2. 音律のセント値を調整する

［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと各音が切り替わります。

［UP / DOWN］ボタンを押すとセント値がー 50 ～＋ 100 まで設定できます。

設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
2-6 ユーザ゛ー C
      =      0
```

7 音律の主音の設定

バーチャルテクニシャンでは平均律ではなく、どの音からも純正律でチューニングすることができます。

1. バーチャルテクニシャン / 音律の主音の設定に入る

バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「オンリツシュオン」を選びます。

```
2-7 オンリツ シュオン
      = C
```

2. 主音を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すと主音を「C ～ B」の間で設定できます。

設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

平均律（フラット）を選択している場合は主音の設定をしても変化はありません。

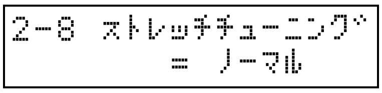
```
2-7 オンリツ シュオン
      = C#
```

8 ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。CA93 / 63 は 2 種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律で平均律（ピアノ）あるいは平均律が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

1. バーチャルテクニシャン / ストレッチチューニングに入る

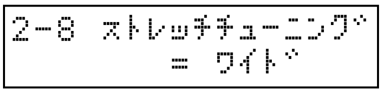
バーチャルテクニシャンに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ストレッチチューニング」を選びます。



2. お好みの調律を選択する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「ノーマル」または「ワイド」が表示されます。「ワイド」にすると低音側はより低く、高音側はより高くなります。

選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。



キーセッティングについて

キーセッティングではデュアル演奏やスプリット演奏時における、音色のオクターブ設定やダンパーの設定を行います。

キーセッティングの内容と電源 ON 時の設定

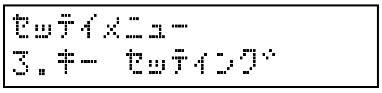
種類	初期設定
1. ロアーオクターブシフト	0
2. ロアーペダルの ON / OFF	オフ
3. レイヤーオクターブシフト	0
4. レイヤーダイナミクス	10

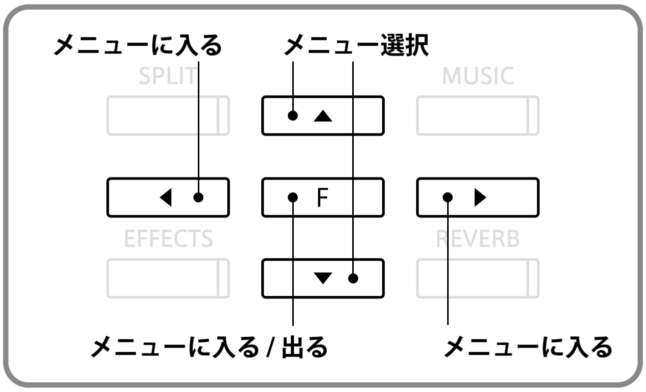
* ユーザーメモリーを設定した場合は、その設定にしたがいます。

キーセッティングへ入る

［FUNCTION］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「キーセッティング」を選んで［FUNCTION］ボタンか [RIGHT]、[LEFT] ボタンを押します。

キーセッティングに入った後 [FUNCTION] ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。





キーセッティング

1 ロアーオクターブシフト

ロアー オクターブ シフトとは、スプリット演奏時（P.18）に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

1. キーセッティング / ロアーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ロアーオクターブシフト」を選びます。

```
3-1 ロアー オクターブ
        =   0
```

2. オクターブ値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すとオクターブ値を「0 ～ 3」の間で設定できます。

設定したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
3-1 ロアー オクターブ
        =   1
```

2 ロアーペダルの ON / OFF

スプリット演奏時 (P.18) にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン / オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

1. キーセッティング / ロアーペダルの ON / OFF の設定に入る

キーセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ロアーペダル」を選びます。

```
3-2 ロアー ペダル
        = オフ
```

2.ON / OFF を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」か「オフ」を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
3-2 ロアー ペダル
        = オン
```

オンにすると、ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。

オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

* ただし、ダンパーレゾナンス（P.54 参照）はロアーペダルのオン / オフの設定にかかわらず働きます。

3 レイヤーオクターブシフト

レイヤーオクターブシフトとはデュアル演奏（P.17）で 2 つの音色を重ねて弾くときに､片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。

1. キーセッティング / レイヤーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので､「レイヤーオクターブ」を選びます。

```
3-3 レイヤーオクターブ
         =    0
```

2. オクターブ値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すとオクターブ値を「-2 ～ 2」の間で設定できます。

値を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
3-3 レイヤーオクターブ
         =   +1
```

ーにするとオクターブが下がります。デュアルモードでディスプレイの 2 行目に表示されている音色のオクターブが変わります。

* 音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

4 レイヤーダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル演奏（P.17）で 2 つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの 2 行目に表示されている音色）のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、「コンサートグランドピアノ」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、通常の設定ではどちらの音色も同じように強弱が変化しますが、「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

1. キーセッティング / レイヤーダイナミクスの設定に入る

キーセッティングに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「レイヤーダイナミクス」を選びます。

```
3-4 ﾚｲﾔｰﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
        =10
```

2. ダイナミクス値を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すとダイナミクスの値を「0 ～ 10」の間で設定できます。

値を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
3-4 ﾚｲﾔｰﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
        = 9
```

数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。10 は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

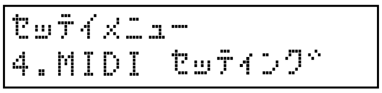
MIDI について

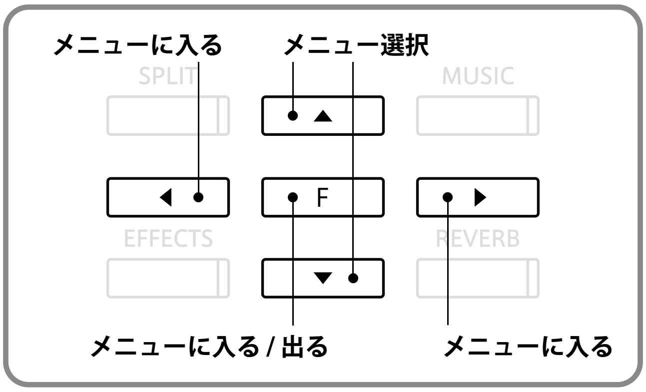
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI セッティングへ入る

［FUNCTION］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「MIDI セッティング」を選んで［FUNCTION］ボタンか [RIGHT]、[LEFT] ボタンを押します。

MIDI セッティングに入った後［FUNCTION］ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。





MIDI 端子の種類

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の 3 つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

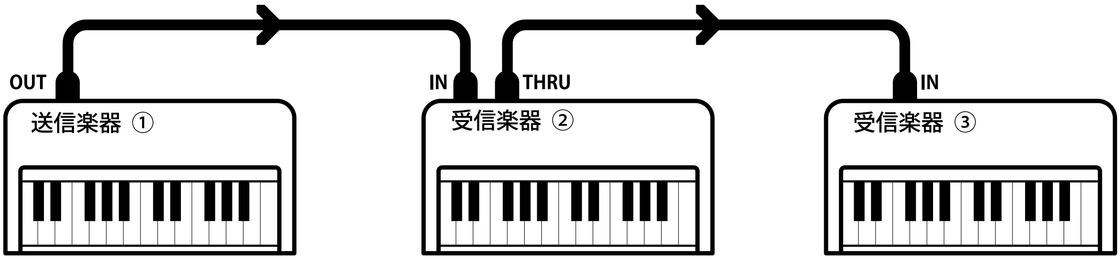
MIDI 端子名	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU	受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI チャンネルについて

MIDI にはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの 2 種類があり、通常 MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



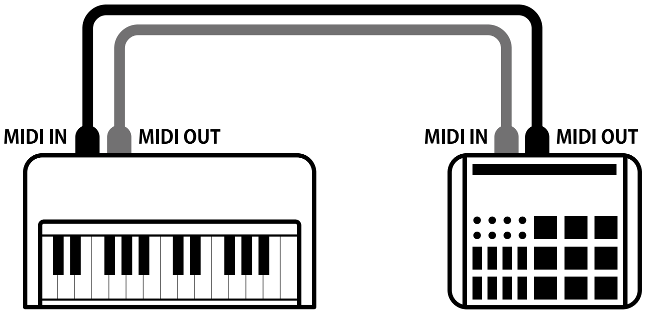
送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②・③に送ります。

受信楽器②・③には①からの情報が送られてきます。基本的には 受信楽器②・③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信 / 受信とも 1 ～ 16 までの番号を使用することができます。

MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CA93 / 63の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CA93 / 63の設定をマルチティンバーオン（P71参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



CA93 / 63のMIDI機能

CA93 / 63のMIDI機能は以下の通りです。

鍵盤情報の送信・受信
CA93 / 63を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。
送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。
プログラム（音色）ナンバーの送信
CA93 / 63を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。
ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON / OFF情報の送信・受信ができます。
ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、CA93 / 63の音を出しているとき、シンセサイザーでCA93 / 63の音量をコントロールすることができます。
マルチティンバーの設定
CA93 / 63が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。
エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。
レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏をMIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

CA93 / 63のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」（P.95）をご覧ください。

MIDI ファンクション

1 MIDI 送受信チャンネル

接続された MIDI 楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。

チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、CA93 / 63 では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

1.MIDI ファンクション / MIDI 送受信チャンネルの設定に入る

MIDI ファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「MIDI チャンネル」を選びます。

```
4-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
=   1  (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

2. チャンネルを設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すとチャンネルの値を「1 ～ 16」の間で設定できます。

値を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
4-1 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
=   2  (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

オムニオン / オムニオフについて

CA93 / 63 は電源オン時には、1 ～ 16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。

マルチティンバーモードがオンのとき

スプリット演奏時

低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。

例えばここでチャンネルを 3 に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は 4 チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時

第 2 音色は、設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。

（ただし、チャンネルを 16 に設定した場合は、1 チャンネルで送信します。）

2 プログラムナンバー送信

CA93 / 63 では 1 ～ 128 までのプログラムナンバーを送信することができます。

1.MIDI ファンクション / プログラムナンバー送信の設定に入る

MIDI ファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「プログラム＃ソウシン」を選びます。

```
4-2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
=    1 (UP+DOWN)
```

2. プログラムナンバーを選択し送信する

［UP / DOWN］ボタンを押すとプログラムナンバーを「1 ～ 128」の間で設定できます。
［UP］ボタンと［DOWN］ボタンを同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。

送信したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
4-2 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
=    2 (UP+DOWN)
```

3 ローカルコントロール

このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン / オフモードと呼びます。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を送信するだけで MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

1.MIDI ファンクション / ローカルコントロールの設定に入る

MIDI ファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ローカルコントロール」を選びます。

```
4-3 ﾛｰｶﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ
         = ｵﾝ
```

2.ON / OFF を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。
「オン」か「オフ」を選択したら、音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
4-3 ﾛｰｶﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ
         = ｵﾌ
```

4 プログラムナンバー送信の ON / OFF

CA93 / 63 では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。マルチティンバーモードをオンに設定したときは、マルチティンバーオン 2 の時のプログラムナンバーを送信します。各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧（P86,87）をご参照ください。

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作を MIDI エクスクルーシブデータとして送信することができます。

1.MIDI ファンクション / プログラムナンバー送信の ON / OFF の設定に入る

MIDI ファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「トランスプログラム」を選びます。

```
4-4 ﾄﾗﾝｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
       = ｵﾝ
```

2.ON / OFF を設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」か「オフ」を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

```
4-4 ﾄﾗﾝｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
       = ｵﾌ
```

デュアル・スプリットモードのときについて

デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン / オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

5 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。（受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧（P86,87）をご参照ください。）

この機能により、外部にシーケンサーを使って、CA93 / 63 1台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

1.MIDI ファンクション / マルチティンバーモードの設定に入る

MIDIファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「マルチティンバー」を選びます。

```
4-5 マルチティンバ゛ー
        = オフ
```

2. オン1・オン2・オフを設定する

［UP / DOWN］ボタンを押すと「オン1 / オン2 / オフ」が表示されます。

「オン1」か「オン2」、「オフ」を選択したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。

オン1・オフのとき
P.86,87付録の「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の左側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

オン2のとき
P.86,87付録の「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の右側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

また、受信チャンネルごとに発音のオン / オフを設定することができます。（チャンネルミュート P.72参照）

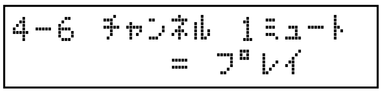
マルチ ティンバー モードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

6 チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。ここでは、各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

1.MIDI ファンクション / チャンネルミュートの設定に入る

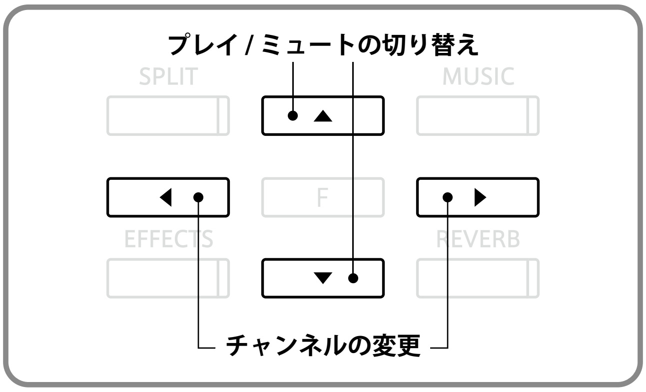
MIDI ファンクションに入り［RIGHT / LEFT］ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「チャンネルミュート」を選びます。



2. 各チャンネルのプレイ・ミュートを設定する

［RIGHT / LEFT］ボタンを押すと各チャンネルが表示されます。［UP / DOWN］ボタンを押すと、「プレイ」または「ミュート」が切り替わります。

設定が終了したら音色ボタンを押すと通常の音色表示画面に戻ります。



USB メモリの接続

この楽器には USB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE] 端子に USB 機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB 機器の取り扱いについては、お使いの USB 機器の取扱説明書もご参照ください。

使用できるUSB機器

USB 対応の記憶装置 (フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ) 動作確認済み USB 機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外の USB 機器 (マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど) は、接続しても使えません。

USB機器の接続

USB [TO DEVICE] 端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1 対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。

この楽器に USB 記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータを USB 記憶装置に保存したり、USB 記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

USB記憶装置のフォーマット

USB 記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB [TO DEVICE] 端子に USB 記憶装置を接続したとき (または USB 記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき) に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください (P.79)。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

他の機器で使用した USB メモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

USB記憶装置の抜き差し

USB 記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

***CA93 / 63 を起動中に USB メモリが差し込まれると、USB メモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。**

***USB メモリが差し込まれた状態で電源スイッチを押し CA93 / 63 を起動すると、USB メモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。**

USB メニューについて

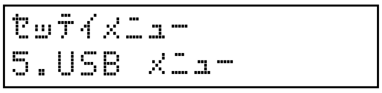
USB メモリを接続して、CA93 / 63 に録音したデータを USB メモリに保存したり、USB メモリをフォーマットするなどの操作を行います。

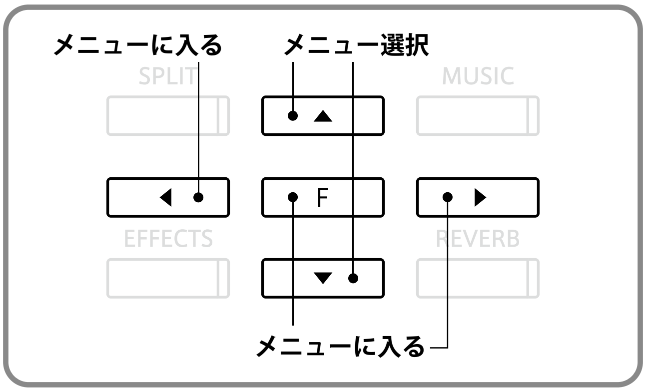
USB メニューの内容

種類	内容
1. USB ロード	USB メモリ内の本機で SAVE した曲を CA93 / 63 に読み込みます。
2. USB セーブ	本体に録音した曲を USB メモリに保存します。
3. USB リネーム	USB メモリ内のファイル名を変更します。
4. USB デリート	USB メモリ内のファイルを削除します。
5. USB フォーマット	USB メモリを初期化します。

USB メニューへ入る

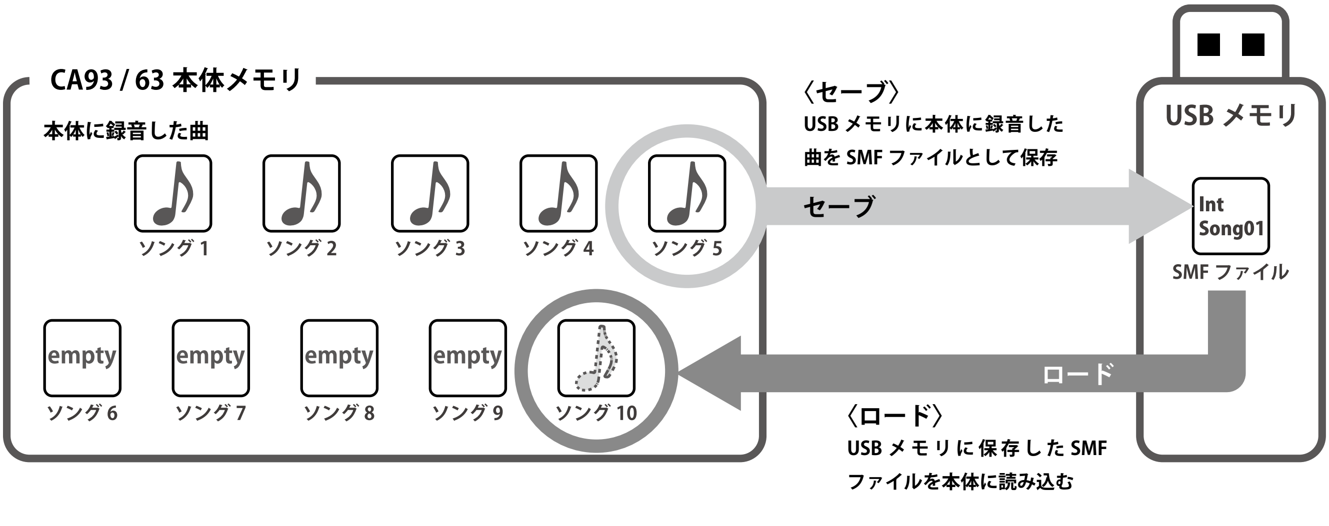
［FUNCTION］ボタンを押して設定メニューに入ります。［UP / DOWN］ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「USB メニュー」を選んで［FUNCTION］ボタンか [RIGHT] ボタンを押します。





USB メニューのロード / セーブについて

USB メニューのロード / セーブの機能は下のイラストのようになっています。



USB メニュー

1 USB ロード

USB メモリを接続して、CA93 / 63 に USB メモリ内の本機でセーブした曲を読み込む（LOAD）ことができます。読み込んだ曲は CA93 / 63 で再生することができます。

1.USB メニュー / 読み込み（LOAD）モードに入る

USB メニューに入り [RIGHT / LEFT] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ロード」を選びます。

```
5-1 ロード
      F ボタン
```

2. 読み込む場所を指定する

次に本体に読み込む場所を指定します。読み込まれる場所は本体に演奏を録音するときに選択する 10 曲（10 ソング）と共通です。

［UP / DOWN］ボタンで読み込む場所を指定します。すでに録音されているパートには 2 行目右隅に＊マークがついています。

読み込む場所を指定したら [FUNCTION] ボタンを押します。

```
ロード
ソング 1
```

```
ロード
ソング 10*
```

3. 読み込みたい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンをで読み込みたい曲を選び、［FUNCTION］ボタンを押します。

```
ロード
IntSong_1
```

4. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押してください。

```
ジッコウシマスカ ?
        ←イイエ ハイ→
```

5. 読み込みモードを終了する

音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

2USB セーブ

USB メモリを接続して、CA93 / 63 に録音した曲を USB メモリに SMF 形式で保存(SAVE)することができます。保存した曲は本機にロードしたり、他の楽器やパソコンで再生することができます。

1.USB メニュー / 保存（SAVE）モードに入る

USB メニューに入り [RIGHT / LEFT] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「セーブ」を選びます。

```
5-2 ｾｰﾌﾞ
     F ﾎﾞﾀﾝ
```

2. 保存したい曲を選ぶ

［UP / DOWN］ボタンをで保存したい曲を選び、［FUNCTION］ボタンを押します。

```
ｾｰﾌﾞ
ｿﾝｸﾞ 1*
```

3. 名前をつける

USB メモリに演奏を保存する際名前をつけます。［RIGHT / LEFT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

ファイル名が決定したら［FUNCTION］ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

* ファイル名は 12 文字までです。

```
ﾅﾏｴ ?    →F ﾎﾞﾀﾝ
IntSong_1
```

4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

*USB メモリに保存したファイルは、USB メモリ内のルートフォルダに保存されます。ディレクトリに保存することはできません。

セーブした曲を他の機器（パソコン等）で名前を変更（RENAME）すると本機でロードできなくなる場合が有ります。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
        ←ｲｲｴ ﾊｲ→
```

5. 保存（SAVE）モードを終了する

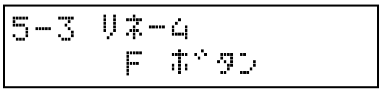
音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

3 USB リネーム

CA93 / 63 は接続した USB メモリ内のファイル名を変更することができます。

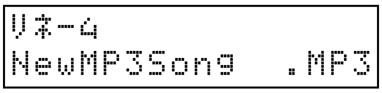
1.USB メニュー / ファイル名変更（RENAME）モードに入る

USB メニューに入り [RIGHT / LEFT] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「USB リネーム」を選びます。



2. 名前を変更したいファイルを選ぶ

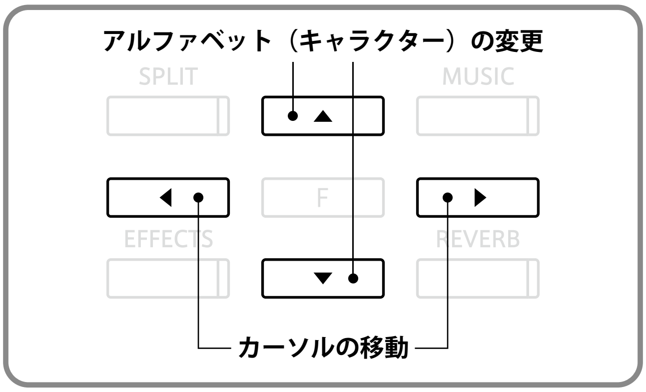
［UP / DOWN］ボタンで名前変更したいファイルを選び、［FUNCTION］ボタンを押します。



3. 名前を変更する

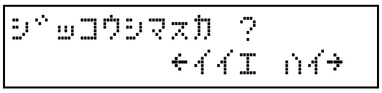
［RIGHT / LEFT］ボタンでカーソルを動かし、［UP / DOWN］ボタンでアルファベット（キャラクター）を変更します。

名前の変更が終了したら［FUNCTION］ボタンを押します。すでに同じファイル名がある場合変更できません。[LEFT] ボタンを押してキャンセルします。



確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

* 名前が 12 文字以上のファイルをリネーム実行すると、変更しなくても 12 文字以下になります。



4. ファイル名変更（RENAME）モードを終了する

音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

■使用できる文字に関して

0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}

ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｡	｢	｣	､	･

* 全角文字は使用できません。

4USB デリート

CA93 / 63 は接続した USB メモリ内の曲を削除することができます。

1.USB メニュー / ファイル削除（DELETE）モードに入る

USB メニューに入り [RIGHT / LEFT] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「USB デリート」を選びます。

```
5-4 デ゛リート
      F ボ゛タン
```

2. 削除したいソングを選ぶ

［UP / DOWN］ ボタンで削除したいソングを選び、［FUNCTION］ボタンを押します。

```
デ゛リート
NewMP3Song   .MP3
```

3. 削除を実行する

確認のメッセージが表示されますので、削除する場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

```
シ゛ッコウシマスカ ?
        ←イイエ ハイ→
```

4. ソング削除（DELETE）モードを終了する

音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

5 USB フォーマット

CA93 / 63 は接続した USB メモリをフォーマットすることができます。フォーマットを実行すると USB メモリ内のデータがすべて消去されます。他の機器で使用した USB メモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

1.USB メニュー / フォーマット（FORMAT）モードに入る

USB メニューに入り [RIGHT / LEFT] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「USB フォーマット」を選びます。

```
5-5 ﾌｫｰﾏｯﾄ
      F ﾎﾞﾀﾝ
```

2. フォーマットする

［FUNCTION］ボタンを押すとメッセージが表示されますので、フォーマットする場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

```
ﾌｫｰﾏｯﾄ ｼﾏｽｶ ?
         ←ｲｲｴ ﾊｲ→
```

確認のメッセージがが表示されますので、フォーマットする場合は [RIGHT] ボタンを、キャンセルする場合は [LEFT] ボタンを押します。

```
ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ ?
         ←ｲｲｴ ﾊｲ→
```

3. フォーマット（FORMAT）モードを終了する

音色ボタンを押すと通常音色画面に戻ります。

困ったときは？

音が出ない

1. ローカルコントロールがオフになっていませんか？（P.69 参照)

2. ヘッドホンが接続されていませんか？（P.11 参照)

3. 音量が 0 になっていませんか？（P.11 参照)

ヘッドホンを使っていないのに、スピーカーから音が出ない

付属のヘッドホンには、プラグにアダプターが付いています。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると､演奏によっては音が歪む場合があります。その場合､音量を小さくして使用してください。

特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことで豊かな音色を実現しています。それらの響きの中には、金属的な音やノイズ系の音も含まれています。また 1 鍵 1 鍵異なる響きをもっています。本機はピアノに限りなく近い音を実現させているため、このような音も再生されます。これは異常ではありません。

なお、本機はピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することが可能です。下記をご参照ください。

トーンコントロールP.44 / ボイシングP.53 / ダンパーレゾナンスP.54 / ストリングレゾナンスP.55 / キーオフエフェクトP.56

ペダルがきかない/きいたりきかなかったりする

1. ペダルコードと楽器の接続をご確認ください。接続されていた場合は、一度抜いてカチッと音がするまでしっかりと差しなおしてみてください。

2. アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

ペダルを踏むと、ぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

レッスン曲がスタートしない

曲を選んだあと、[PLAY / STOP] ボタンを押してください。

USBメモリが認識されない、または動作しない

動作確認されている USB メモリをご使用下さい。（弊社ホームページから使用できる USB 装置を確認出来ます。）

曲（MP3,WAVE）を再生しても音が出ない

USB AUDIO PLAYER のボリュームが 0 になっていませんか？（P.39 参照）

USB メモリに保存されている曲が再生できない

再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。（P.37 参照）

音色一覧

PIANO 1
コンサートグランド
コンサートグランド 2
スタジオグランド
スタジオグランド 2
メローグランド
メローグランド 2
ジャズグランド
ジャズグランド 2
PIANO 2
ポップピアノ
ポップピアノ 2
ブライトピアノ
ロックピアノ
ホンキートンクピアノ *
ニューエイジピアノ *
ニューエイジピアノ 2 *
ニューエイジピアノ 3 *
ELECTRIC PIANO
クラシック E. ピアノ
モダン E. ピアノ
60's E. ピアノ
モダン E. ピアノ 2
ニューエイジ E. ピアノ
クリスタル E. ピアノ
モダン E. ピアノ 3 *
ニューエイジ E. ピアノ 2 *
ORGAN
ジャズオルガン
ドローバーオルガン
ドローバーオルガン 2
ジャズオルガン 2
ジャズオルガン 3
ジャズオルガン 4
ジャズオルガン 5*
ドローバーオルガン 3*
チャーチオルガン
ディアパソン
フルアンサンブル
オクターブディアパソン
ティビアオルガン
8 フィートパイプ
プリンシパルオルガン *
バロックオルガン *

HARPSI & MALLETS
ハープシコード
ハープシコード 2
ビブラフォン
クラビ
マリンバ
チェレスタ
オクターブハープシコード *
スプリットベル *
STRINGS
スローストリングス
シンセストリングス
メローストリングス
ストリングアンサンブル
メローオーケストラ
スモールストリングス *
ハープ
ピチカート *
VOCAL & PAD
クワイア
ポップボーカル
ポップボーカル 2
クワイア 2
ジャズボーカル
ポップボーカル 3
スロークワイア *
ブレスクワイア *
ファンタジー
ファンタジー 2
ファンタジッククワイア
ファンタジー 3
ファンタジー 4
ファンタジックブラス
ファンタジッククワイア 2 *
コスミックパッド *
BASS & GUITAR
ウッドベース
エレクトリックベース
フレットレスベース
W. ベース & シンバル
E. ベース & シンバル *
バラードギター
ピックナイロンギター
フィンガーナイロンギター *

* がついているものは CA93 のみの音色です。

デモ曲一覧

デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
コンサートグランド	愛の夢第３番	リスト
コンサートグランド２	子犬のワルツ	ショパン
スタジオグランド	オリジナル	カワイ
スタジオグランド２	オリジナル	カワイ
メローグランド	ソナタ第 30 番	ベートーベン
メローグランド２	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
PIANO2		
ポップピアノ	オリジナル	カワイ
ブライトピアノ	オリジナル	カワイ
ロックピアノ	オリジナル	カワイ
ニューエイジピアノ２　(CA93)	オリジナル	カワイ
ELECTRIC PIANO		
クラシック E. ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン E. ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン E. ピアノ２	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン２	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	トッカータ	ジグー
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第６番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
オクターブハープシコード　(CA93)	プレリュード in A ♭	バッハ
STRINGS		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	オリジナル	カワイ
クワイア２	オリジナル	カワイ
ジャズボーカル	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ファンタジー２	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W. ベース＆シンバル	オリジナル	カワイ
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

ピアノミュージック / レッスン曲集一覧

ピアノミュージック

	曲名	作曲者名
1	タンブラン	ラモー
2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
3	メヌエット ト長調（BWV.Anh.114）	バッハ
4	メヌエット ト短調（BWV.Anh.115）	
5	メヌエット ト長調（BWV.Anh.116）	
6	かっこう	ダカン
7	ガヴォット	ゴセック
8	メヌエット	ボッケリーニ
9	主題と変奏「ピアノ・ソナタ第 11 番 K.331」より第 1 楽章	モーツァルト
10	トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第 11 番 K.331」より第 3 楽章	
11	メヌエット	
12	ピアノ・ソナタ「月光」より第 1 楽章	ベートーベン
13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第 2 楽章	
14	エリーゼのために	
15	ロンド・ファヴォリ	フンメル
16	即興曲　作品 90 の 4	シューベルト
17	楽興の時　作品 94 の 3	
18	間奏曲	
19	即興曲　作品 142 の 3	
20	歌の翼に	メンデルスゾーン
21	春の歌	
22	ロンド・カプリッチョーソ	
23	別れの曲	ショパン
24	雨だれの前奏曲	
25	子犬のワルツ	
26	ノクターン第 2 番	
27	幻想即興曲	
28	軍隊ポロネーズ	
29	英雄ポロネーズ	

レッスン曲集

1．バイエルピアノ教則本　全曲　（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2．ブルクミュラー 25 の練習曲　全曲　（カワイ出版）
3．チェルニー１００番練習曲　全曲　（カワイ出版）
4．チェルニー３０番練習曲　全曲　（カワイ出版）
5．ソナチネ・アルバム１　全曲　（カワイ出版）
6．バッハ・インベンション　15 曲　（カワイ出版：バッハ・インベンションとシンフォニア）

コンサートマジック曲目一覧

	曲名	作曲者名
	子供の曲（27 曲）	
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10 人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O. ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P. ヤーロウ、L. リプトン
26	河はよんでいる	G. ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
	ディズニー / アニメ / スクリーン（13 曲）	
28	狼なんか怖くない	F. チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F. チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他２名
32	星に願いを	L. ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J. ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O. ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H. アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
	アメリカのクラシック音楽（9 曲）	
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

	曲名	作曲者名
	クラシック（31 曲）	
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン・シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P. スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　１番	サティ
68	前奏曲作品 28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
	クリスマスの曲（4 曲）	
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
	世界の民謡（4 曲）	
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

■別売コンサートマジック曲集について

「コンサートマジック曲集 Vol.2」では、本体に内蔵されている全コンサートマジック曲の演奏譜とメロディー譜を掲載しています。演奏譜はご自分で曲を演奏するときに、メロディー譜はコンサートマジックでのマジカルメロディーモード又はマジカルメロディー＆キーモードで演奏するときにご利用いただけます。ご注文方法など詳細は、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

リズム一覧

No.	リズム名
1	8 ビート 1
2	8 ビート 2
3	8 ビート 3
4	16 ビート 1
5	16 ビート 2
6	16 ビート 3
7	16 ビート 4
8	16 ビート 5
9	16 ビート 6
10	ロック ビート 1
11	ロック ビート 2
12	ロック ビート 3
13	ハード ロック
14	ヘヴィ ビート
15	サーフ ロック
16	2nd ライン
17	50 ウェイズ
18	バラード 1
19	バラード 2
20	バラード 3
21	バラード 4
22	バラード 5
23	ライト ライド 1
24	ライト ライド 2
25	スムース ビート
26	リム ビート
27	スロー ジャム
28	ポップ 1
29	ポップ 2
30	エレクトロ ポップ 1
31	エレクトロ ポップ 2
32	ライド ビート 1
33	ライド ビート 2
34	ライド ビート 3
35	ライド ビート 4
36	スリップ ビート
37	ジャズ ロック
38	ファンキー ビート 1
39	ファンキー ビート 2
40	ファンキー ビート 3
41	ファンキー 1
42	ファンキー 2
43	ファンキー 3
44	ファンク シャッフル 1
45	ファンク シャッフル 2
46	バズ ビート
47	ディスコ 1
48	ディスコ 2
49	ヒップ ホップ 1
50	ヒップ ホップ 2

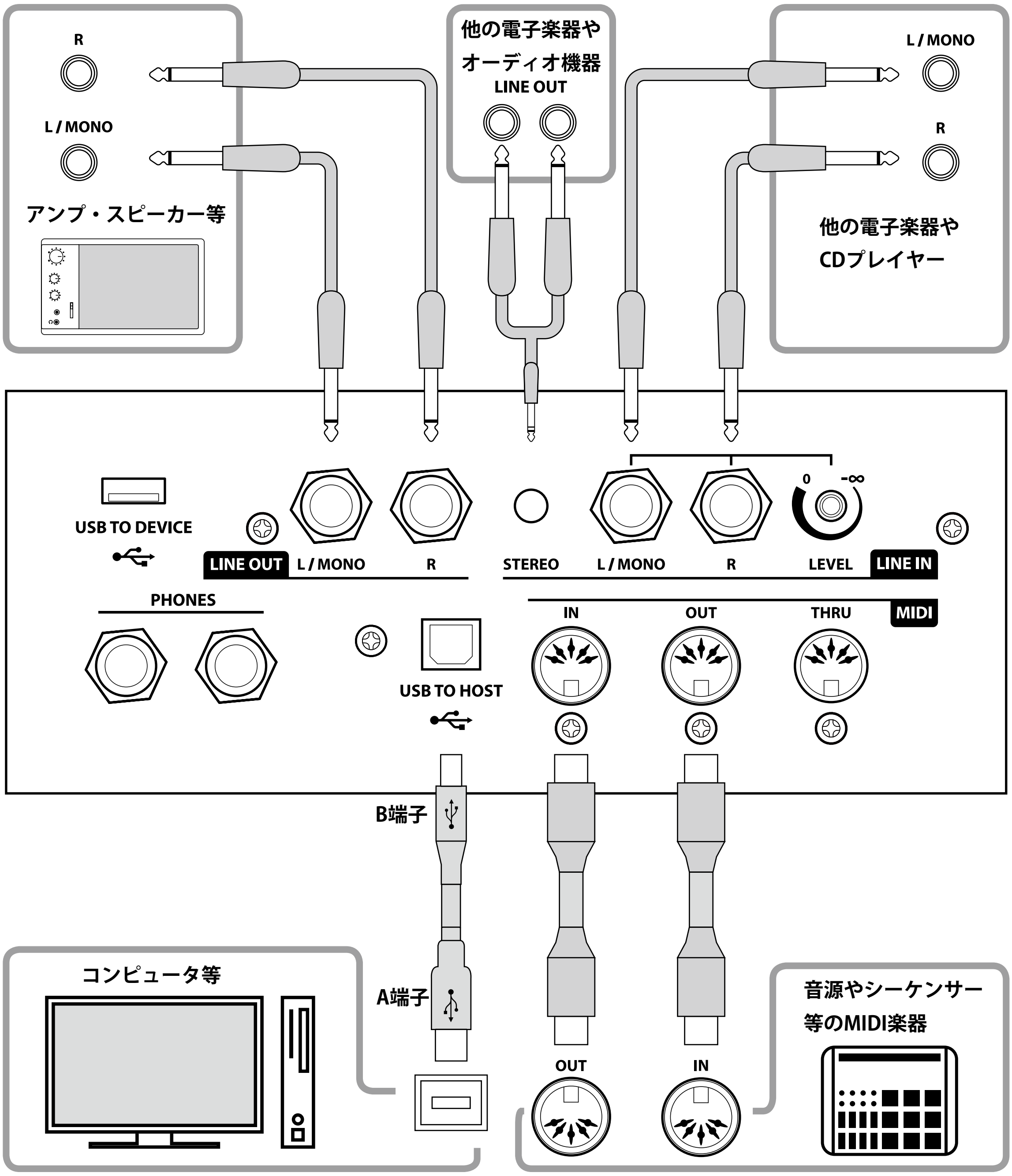
No.	リズム名
51	ヒップ ホップ 3
52	ヒップ ホップ 4
53	テクノ 1
54	テクノ 2
55	テクノ 3
56	ヘヴィ テクノ
57	8 シャッフル 1
58	8 シャッフル 2
59	8 シャッフル 3
60	ブギ
61	16 シャッフル 1
62	16 シャッフル 2
63	16 シャッフル 3
64	T シャッフル
65	トリプレット 1
66	トリプレット 2
67	トリプレット 3
68	トリプレット 4
69	トリプレット バラード 1
70	トリプレット バラード 2
71	トリプレット バラード 3
72	モータウン 1
73	モータウン 2
74	ライド スウィング
75	H.H. スウィング
76	ジャズ ワルツ 1
77	ジャズ ワルツ 2
78	5/4 スウィング
79	タム スウィング
80	ファースト 4 ビート
81	H.H. ボサノバ
82	ライド ボサノバ
83	ビギン
84	マンボ
85	チャ チャ
86	サンバ
87	ライト サンバ
88	スルド サンバ
89	ラテン グルーブ
90	アフロ キューバン
91	ソンゴ
92	ベンベ
93	アフリカン ベンベ
94	メレンゲ
95	レゲエ
96	タンゴ
97	ハバネラ
98	ワルツ
99	ラグタイム
100	カントリー & ウエスタン

各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン 1 の時		マルチティンバー 2 の時		
	プログラムナンバー		プログラムナンバー	バンク	
	CA93	CA63		MSB	LSB
PIANO 1					
コンサートグランド	1	1	1	121	0
コンサートグランド 2	2	2	1	95	16
スタジオグランド	3	3	1	121	1
スタジオグランド 2	4	4	1	95	17
メローグランド	5	5	1	121	2
メローグランド 2	6	6	1	95	18
ジャズグランド	7	7	1	95	8
ジャズグランド 2	8	8	1	95	19
PIANO 2					
ポップピアノ	9	9	2	95	10
ポップピアノ 2	10	10	2	95	13
ブライトピアノ	11	11	2	121	0
ロックピアノ	12	12	2	121	1
ホンキートンクピアノ *	13	-	4	121	0
ニューエイジピアノ *	14	-	2	95	5
ニューエイジピアノ 2 *	15	-	1	95	9
ニューエイジピアノ 3 *	16	-	1	95	10
ELECTRIC PIANO					
クラシック E. ピアノ	17	13	5	121	0
モダン E. ピアノ	18	14	6	121	0
60'sE. ピアノ	19	15	5	121	3
モダン E. ピアノ 2	20	16	6	121	1
ニューエイジ E. ピアノ	21	17	6	95	2
クリスタル E. ピアノ	22	18	6	95	1
モダン E. ピアノ 3 *	23	-	6	121	2
ニューエイジ E. ピアノ 2 *	24	-	6	95	3
ORGAN					
ジャズオルガン	25	19	18	121	0
ドローバーオルガン	26	20	17	121	0
ドローバーオルガン 2	27	21	17	121	1
ジャズオルガン 2	28	22	17	95	2
ジャズオルガン 3	29	23	18	95	1
ジャズオルガン 4	30	24	17	95	6
ジャズオルガン 5*	31	-	17	95	3
ドローバーオルガン 3*	32	-	19	95	4
チャーチオルガン	33	25	20	121	0
ディアパソン	34	26	20	95	7
フルアンサンブル	35	27	21	95	1
オクターブディアパソン	36	28	20	95	6
ティビアオルガン	37	29	20	95	17
８フィートパイプ	38	30	20	95	21
プリンシパルオルガン *	39	-	20	95	23
バロックオルガン *	40	-	20	95	19

音色名	マルチティンバーオフ、オン 1 の時		マルチティンバー 2 の時		
	プログラムナンバー		プログラムナンバー	バンク	
	CA93	CA63		MSB	LSB
HARPSI & MALLETS					
ハープシコード	41	31	7	121	0
ハープシコード 2	42	32	7	121	3
ビブラフォン	43	33	12	121	0
クラビ	44	34	8	121	0
マリンバ	45	35	13	121	0
チェレスタ	46	36	9	95	1
オクターブハープシコード *	47	-	7	121	1
スプリットベル *	48	-	15	95	5
STRINGS					
スローストリングス	49	37	45	95	1
シンセストリングス	50	38	49	95	8
メローストリングス	51	39	49	95	1
ストリングアンサンブル	52	40	49	121	0
メローオーケストラ	53	41	50	95	1
スモールストリングス *	54	-	49	95	14
ハープ	55	42	47	121	0
ピチカート *	56	-	46	121	0
VOCAL & PAD					
クワイア	57	43	53	121	0
ポップボーカル	58	44	54	95	39
ポップボーカル 2	59	45	54	95	40
クワイア 2	60	46	54	95	53
ジャズボーカル	61	47	54	95	2
ポップボーカル 3	62	48	54	95	7
スロークワイア *	63	-	53	95	2
ブレスクワイア *	64	-	53	95	1
ファンタジー	65	49	89	121	0
ファンタジー 2	66	50	100	121	0
ファンタジッククワイア	67	51	92	121	1
ファンタジー 3	68	52	101	95	1
ファンタジー 4	69	53	89	95	2
ファンタジックブラス	70	54	62	95	2
ファンタジッククワイア 2 *	71	-	95	121	0
コスミックパッド *	72	-	90	95	1
BASS & GUITAR					
ウッドベース	73	55	33	121	0
エレクトリックベース	74	56	34	121	0
フレットレスベース	75	57	36	121	0
W. ベース & シンバル	76	58	33	95	1
E. ベース & シンバル *	77	-	34	95	2
バラードギター	78	59	26	95	6
ピックナイロンギター	79	60	25	95	3
フィンガーナイロンギター *	80	-	25	95	4

他の機器との接続



・他の機器と接続する時はCA93 / 63の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きCA93 / 63の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。

・CA93 / 63のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

1. LINE OUT（ライン出力端子）＜標準フォンジャック＞

CA93 / 63 の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、カセットデッキ等に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R は右側、L / MONO は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONO のみにプラグを接続したときに出力されます。

2. LINE IN（ライン入力端子）＜標準フォンジャック＞

他の電子楽器や CD プレイヤーなどの出力端子とこの端子を接続すると、CA93 / 63 の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。R は右側、L は左側の入力を示しています。接続した機器がモノラルの場合は L/MONO にプラグを接続してください。音量調節はラインイン端子の右側にある LEVEL つまみを回すか、接続した機器で調節してください。

3. LINE IN STEREO 端子（ライン入力ステレオ端子）＜ミニジャック＞

他の楽器やオーディオなどのライン出力端子とこの端子を接続すると、接続した機器の音を本機の内蔵スピーカーから出力できます。この場合、本機側で音量を調節できませんので、外部機器側で調節してください。

4. MIDI（ミディ）

MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

5. USB 端子

市販の USB ケーブルでコンピュータと接続すると、MIDI デバイスとして認識され通常の MIDI インターフェイスと同様に MIDI メッセージを送受信することができます。

USB 端子には A 端子と B 端子があり、コンピュータ側は A 端子、デジタルピアノ側は B 端子でそれぞれ接続します。

他の機器との接続

USB ドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノを USB 接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDI ドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDI ドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP (SP なし , SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit	Windows に搭載されている標準 USB-MIDI ドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこの USB-MIDI ドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして Windows ME / XP / XP 64bit の場合は「USB オーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista（SP なし）	指定の専用 USB-MIDI ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用 USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vista の場合は必ず XP 互換モードでインストールしてください。 **http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/** ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDI ドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OS の「ドライバーの更新」機能によって正しい USB-MIDI ドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit（SP なし）	USB-MIDI をサポートしておりません。SP1、または SP2 にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS X では自動的に USB-MIDI デバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9 以前の Macintosh	OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の MIDI インターフェイスを使用して、MIDI 接続してください。

USB に関するご注意

- MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
- デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
- 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
  「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDI アプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」
- お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

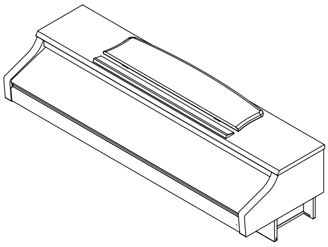
*"MIDI" は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。*Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
*Macintosh は、Apple Computer.Inc. の登録商標です。 * その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

CA63 の組み立て方

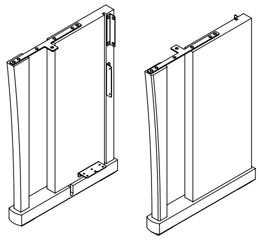
組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

■部品の確認

組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、＋ドライバーをご用意下さい。

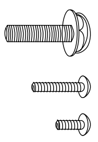


①本体



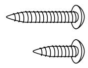
②側板　2 枚（左右）

先の平らなネジ

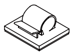


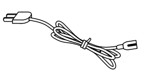
⑤ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）　2 本
⑥ネジ（黒長）2 本
⑦ネジ（黒短）4 本

先の尖ったネジ



⑧タッピングネジ（黒長）4 本
⑨タッピングネジ（銀短）4 本

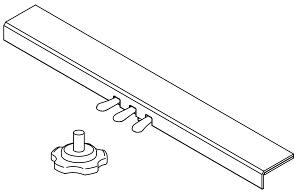




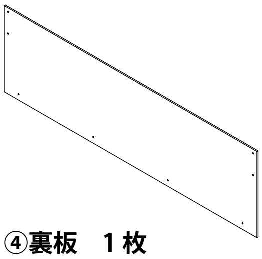
⑩ワッシャー　2 個

⑪コードクランプ　2 個

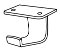
⑫電源コード　1 本



③ペダル土台　1 個
ペダルアジャスター　1 個



④裏板　1 枚

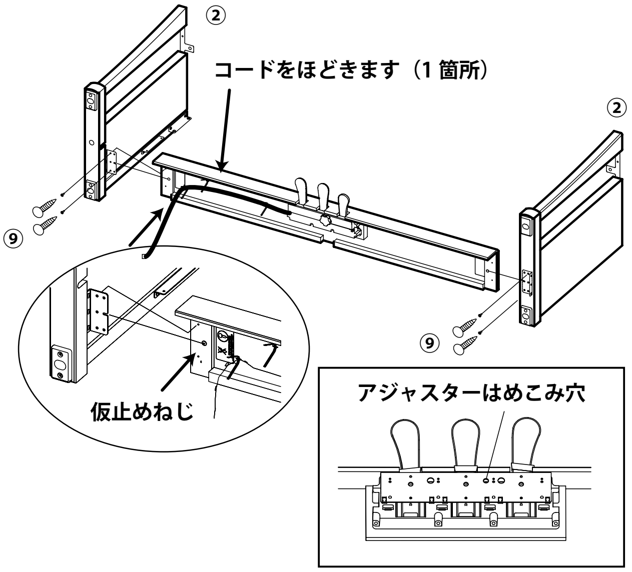


ヘッドホンフック

ヘッドホンフック取付ネジ　φ4×14(2 本)

⑬電源ヘッドホンフックセット　1 セット

1.「②側板」と「③ペダル土台、アジャスター」を組み立てる



「③ペダル土台」に結ばれているペダル接続コード（1 箇所のみ）をほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。また、ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を矢印の指す孔に 1 ㎝ぐらいはめこみます。

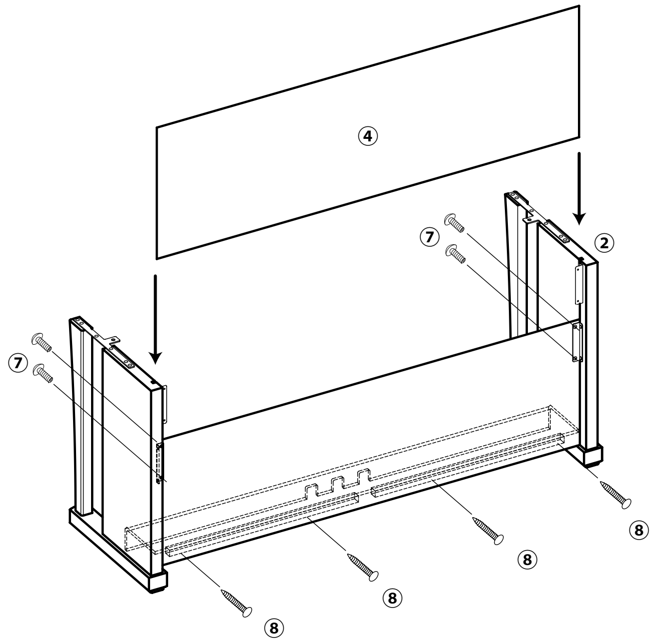
「③ペダル土台」に仮止めされているネジを側板の金属の溝にはめ込み、「②側板」とペダル土台をぴったりと押しあてて仮止めねじを締めます。「②側板」は、左右あるので組み合わせに注意してください。残りのネジ穴に先の尖った銀色のネジ⑨で固定します。

ここがポイント！
•側板（左／右）とペダル土台をしっかり密着させて下さい。

②

次のページへ→

2.「④裏板」を固定する



ペダル土台を下向きにして起こします。

このとき、床に楽譜や部品がないことを確認ください。

「④裏板」を取り付けます。

上から「②側板」の溝に差し込みます。

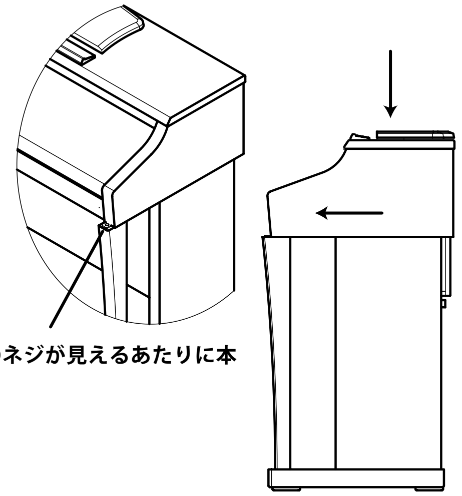
前より「⑦ネジ（黒短）」4本で裏板上部を固定します。

次に後ろより「⑧タッピングネジ（黒長）」4本で下部を固定します。

ここがポイント！

・側板を若干開き気味にしておいて裏板を入れます。
ただし、強く開くとペダル土台と側板の取付部破損の原因と なりますので注意してください。

3.「①本体」を載せる



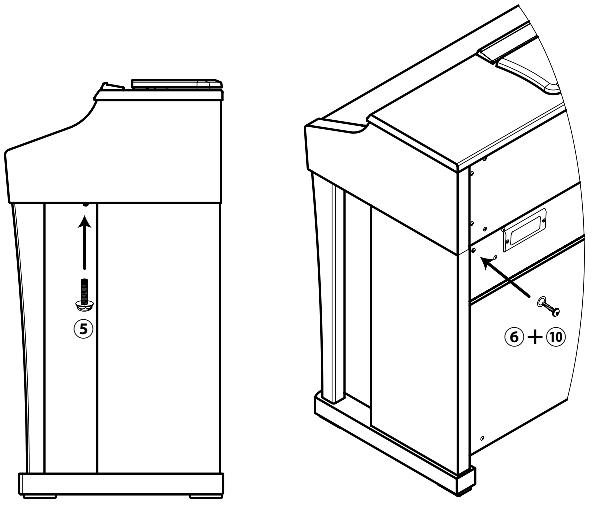
スタンドの前のネジが見えるあたりに本体を載せます

「①本体」を十分上に持ち上げ、上からスタンドに静かに載せます。真上から見て、スタンドの前のネジが見えるあたりに載せます。スタンドを固定して、本体を前に止まるまでずらしてください。

本体とスタンドの間で
手をはさまないよう注意してください。

ここがポイント！

・側板を若干開き気味にしておいて、側板の間に本体を入れてください。

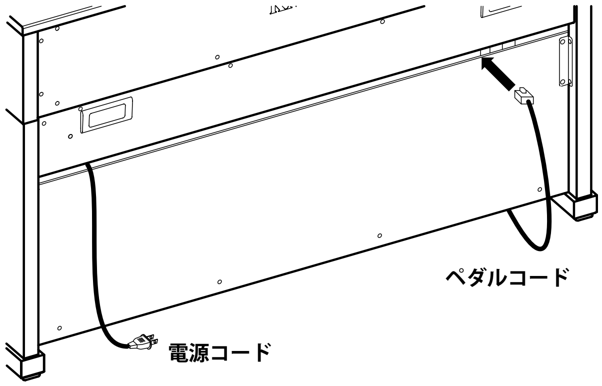


本体とスタンドを「⑤ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）」2本と「⑥ネジ（黒長）」2本＋「⑩ワッシャー」2個で固定します。

まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。この時､「⑤のネジ」はスプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めてください。

必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと､本体がスタンドから落ち､大変危険です。

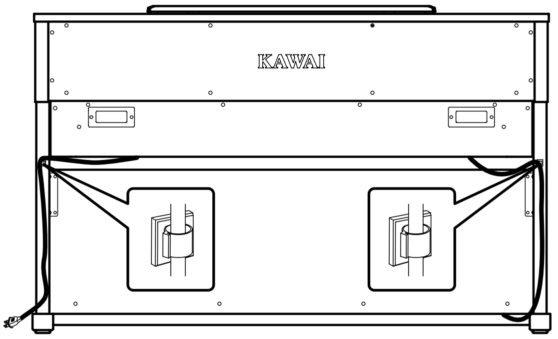
4. コード類を接続する

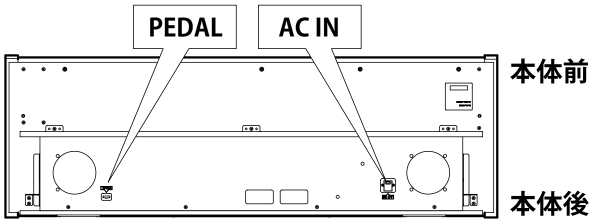


ペダル土台から出ているペダル接続コードを、裏板上の隙間より前に通してください。本体の前に回り、端子の突起部を後ろにしてペダル端子に差し込みます。

「⑫電源コード」の端子を AC IN に差込み、裏板上の隙間よりプラグを後ろに通してください。

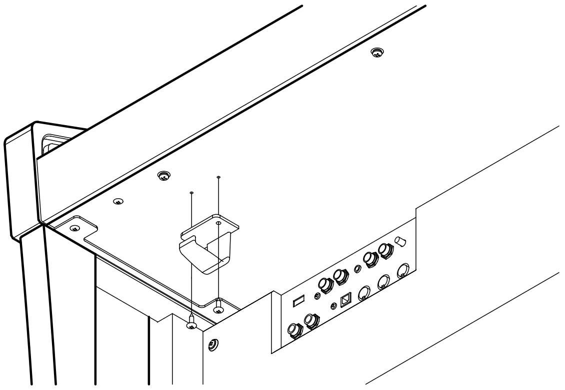
ここがポイント！
・コネクターの突起の向きに注意して下さい。
・コネクターはまっすぐ差し込んで下さい。無理に押し込むと故障の 原因になります。
※コードを外す場合は、突起部分を押しながら、コネクターを抜いて下さい。





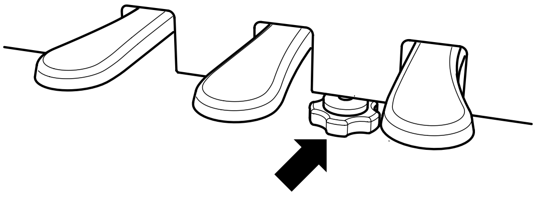
コード類をコードクランプで固定します。

5. ヘッドホンフックを取り付ける



ヘッドホンフックは同じ袋に入っている２本のタッピングネジで図の穴に固定してください。

6. アジャスターを回す



ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
尚、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

付録

CA93 / 63 仕様

	CA93	CA63
鍵盤	88 鍵　木製鍵盤 RM3 Grand アイボリータッチ レットオフフィール	88 鍵　木製鍵盤 RM3 Grand アイボリータッチ
同時発音数	最大 192 音（音色により異なる）	
音色	80 音色　（P.81 参照）	60 音色　（P.81 参照）
ディスプレイ	16 文字 x 2 行　液晶ディスプレイ　（LCD）	
効果	リバーブ（ルーム 1 / 2、ステージ、ホール 1 / 2） コーラス、ディレイ 1 / 2 / 3、トレモロ、ロータリー 1 / 2、トーンコントロール	
レッスン	全 346 曲　（練習曲：326 曲、指のトレーニング：20 曲）	
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子、リズム 100 種類	
内部レコーダー	2 パート x 10 ソング、総記憶音数　約 90,000 音	
USB オーディオ レコーダー	再生 : MP3 (ビットレート : 8 k ~ 320 kbps, サンプリング周波数 : 44.1 kHz, 48 kHz, 32 kHz), WAV (44.1 kHz, 16 bit), SMF	
	レコーダー録音 : MP3 (ビットレート : 192 kbps 固定 , サンプリング周波数 : 44.1 kHz), WAV (44.1 kHz, 16 bit)	
デモ曲	全 36 曲	全 34 曲
ピアノミュージック	全 29 曲	
コンサートマジック	全 88 曲	
バーチャルテクニシャン	ボイシング（6 種）、ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト タッチカーブ（6 種 / ユーザー 2 種）、音律（9 種類 / ユーザー）、ストレッチチューニング（2 種）	
キートランスポーズ	-12 ～＋ 12 半音	
ソングトランスポーズ	-12 ～＋ 12 半音	
その他機能	デュアル、スプリット、4 ハンズ（連弾演奏）、ウォール EQ（CA93 のみ）、 スピーカーボリューム、ヘッドホンボリューム、ロアーオクターブシフト、ロアーペダル レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、ダンパーホールド、チューニング MIDI 設定機能、ユーザーメモリー、ファクトリーリセット	
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート	
キーカバー	スライド式	
外部記憶	USB メモリ、USB フロッピーディスクドライブ	
外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN, OUT, THRU）、LINE OUT（L / MONO, R）、 LINE IN（L / MONO, R）- LINE IN ボリューム付、STEREO IN、 USB to HOST、USB to DEVICE	
出力	50 W x 2 ＋ 35 W x 1	50 W x 2
スピーカー	7 cm x 4（トップスピーカー） 1.9 cm x 2（ドームツィーター） 響板スピーカー	13 cm x 2 (フルレンジスピーカー) 5 cm x 2 (ツィーター)
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz	
消費電力	115 W	80 W
寸法	W 146.5 x D 47.5 x H 92.0 cm セットアップ時、但し譜面台を倒した状態	W 144.0 x D 47.5 x H 91.0 cm セットアップ時、但し譜面台を倒した状態
重量	87 kg	76 kg
同梱品	本体 / スタンド / 木製高低自在椅子 / 電源コード / 取扱説明書（本書） クラシカルピアノコレクション（楽譜集）/ ヘッドホン（SH-2N）/ ヘッドホンフック ミニステレオケーブル / スタンド組立図（CA63 のみ）/ 保証書 / ご愛用者カード アフターサービスと音楽教室のご案内 / 楽譜集のご案内 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙 ※ CA93 は本体とスタンドが接続された状態で梱包されています。	

KAWAI [Model CA93 / 63] MIDI インプリメンテーションチャート

Date : Aug '09 Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源 ON 時 設定可能	1 1 ～ 16	1 1 ～ 16	
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	モード 3 × ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	モード 1 モード 1, 3** ×	** 電源ON時オムニオン。MIDI チャンネル設定操作によりオムニオフ。
ノートナンバー	音域	21 - 108* ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127 0 - 127	* 9-120　トランスポーズを含む。
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○　9nH　v=1-127 ×　9nH　v=0	○ ×	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロールチェンジ	0,32	○	○	バンクセレクト
	7	×	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション
	64	○（右ペダル）	○	ダンパー
	66	○（中ペダル）	○	ソステヌート
	67	○（左ペダル）	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○（0 - 127） ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	○（0 - 127）	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカル ON / OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○（123 ～ 127） ○ ×	
備　考				

モード 1 : オムニオン、ポリ　モード 2 : オムニオン、モノ
モード 3 : オムニオフ、ポリ　モード 4 : オムニオフ、モノ

○ : 有り
× : 無し

付録

MEMO

MEMO

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00 ～ 12：00 / 13：00 ～ 17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jp の「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

816627
KPSZ-0303-R105
Printed in Indonesia

本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。